〇概ね5年で実施する取組(江戸川) ( : 江戸川特有の取組) ●:実施済み(完了) 、▲:着手済み(継続) 、〇:実施予定 、一:予定無し 、■:該当なし・対象なし ●:実施済み(完了) 、 ▲:着手済み(継続) 、 ○:実施予定 、 ■:該当なし・対象なし 具体的な取組の柱 関東地整 江戸川区 地域 事 項 足立区 埼玉県 東京都 気象庁 いたま市 草 越谷市 久喜市 三郷市 幸手市 杉戸町 市川市 船橋市 松戸市 浦安市 葛飾区 茨城県 千葉県 五霞町 松伏町 野田市 流 部 課題 目標時期 柏市 主な内容 山市 加市 潮市 住 民 具体的取組 大規模氾濫減災協議会の設置 ・平成30年出水期までに、既に設置されている「水防災意識社会再構築ビジョン」に基 「一次のサー川・州市などに、城上を載している。」、「小別次高級市五子行情楽にフョフ』に参 でく協議会を、改正水防法に基づく「大規模氾濫演び協議会」へ移行。水防法の改正を 受けて、「地域の取組方針」を再確認し、減災対策を充実 ・毎年、協議会を開催して取組状況をフォローアップし、必要に応じて「地域の取組方 H28年度設置 大規模氾濫減災協議会の設置 • • • H29年度移行 針」の見直しを実施 ・協議会の取組内容等についてホームページ等で公表 毎年開催 )ハード対策の主な取組 ■(1)-1洪水を河川内で安全に流す対策 優先的に実施する堤防整備(天端舗装含む) 築提等 H32年度 ■(1)-2避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備 ①防災行政無線の増設・デジタル化等の改良、防災ラジオの配布、メート防災行政無線の増設・デジタル化等の改良ル配信サービスの導入等必要性の高い取組を各自治体で適宜選択レート防災ラジオの配布 引き続き O(-部●) ○(一 O(-部●) 0 • • • • 0 • • 0 • 0 実施 メール配信サービスの導入等 ②浸水時においても災害対応を継続するため、庁舎等重要施設が洪オ 浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐 浸水想定区域内にある場合、施設整備や自家発電装置等の耐水化等 について浸水深等、必要性、重要性に応じて柔軟に対応又は対応の働 ・協議会の場等において、浸水想定区域内の市区町庁舎や災害拠点病院等の機能確 H28年度から 順次実施 保に関する情報を共有し、耐水化、非常用電源等の必要な対策及び施設の増強につ 市区町庁舎や災害拠点病院等の機能確保のための対策の充実(耐 0 0 • • • 0 0 いては各施設管理者において順次実施、対策の実施状況については協議会で共有・協議会の場等において、浸水想定区域内の市区町庁舎や災害拠点病院等に関する情報を共有し、各施設管理者等に対する洪水時の情報伝達体制・方法について検討 市区町庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実 ③水防活動を支援するための新技術も含めた水防資機材等の導入の 検討を含めて柔軟に対応 H28年度から 順次実施 • • • • • • • • • • • ・水防活動を支援するための新素材・新技術等を含めた水防資機材等の配備 P•Q • ullet• • • • • • • • • • • • 簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置 ・国において平成29年度中に危機管理型水位観測規定等を作成 ・平成29年度中に危機管理型水位計配置計画を公表 ・危機管理型水位計配置計画に基づいて、順次整備を実施し、協議会の場等を活用し ● (簡易z 位計、 CCTV ④水防団の円滑な水防活動を支援するための簡易水位計や量水標、 引き続き 実施 . 配置状況を確認 く、町山へ水で雑誌 ・国において河川監視用カメラ画像の確実な提供体制を確保するため、設置目的に応じた河川監視用カメラの開発に着手 ・河川監視用カメラの配置計画を見直し(設置目的に応じた性能最適化・集約化等)、 危機管理型水位計、河川監視用カメラの整備 順次整備を実施 側帯等の維持管理 ⑤迅速な水防活動を支援するための資機材及び河川防災ステーション の整備 引き続き 実施 ・ 日本学の経行目は ・ 「協議会の機等を活用して、河川防災ステーションの整備を進めるとともに、関係機関と情報を共有し市区町等の円滑な水防活動等、活用方策を検討・調整 • 2)ソフト対策の主な取組 (2-1)逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組 ■(2)-1-1情報伝達、避難計画等に関する事項 水位計の情報やライブカメラの映像をリアルタイムで提供 プッシュ型メールの配信 住民の避難行動、迅速な水防活動を支援するための洪水予報、水位 H28年度から 0 0 0 0 0 0 0 0 0  $\blacktriangle$ 0 0 0 0 0 0 0 0 順次実施 洪水時における河川管理者からの情報提供等(ホットラインの構築) 毎年、出水期前に協議会において、ホットラインについての連絡体制を確認 ②夜間、荒天時における避難勧告等の発令基準の作成及び避難誘導 体制の検討 H28年度から O(-部●) O(-部●) ・夜間や荒天時を想定した避難勧告の発令基準や避難誘導体制の設定 C•D 0 • 0 0 0 0 0 0 0 0 • 0 0 0 0 0 • 平成29年度に、全国20地域で、迅速かつ効率的な防災行動の実施を目指し、河川管 理者、市区町、気象台等に加え、様々な関係者による多様な防災行動を対象とした水 害対応タイムラインの取組を先行して検討するとともに、協議会の場等を活用して、そ ③避難勧告等発令の対象区域、判断基準等の確認 H28年度から 順次実施 ○(-部●) O O(-部●) O(-部●) 部●) 部●) O(-部●) 部●) O(-部●) ▲ O(- O(-部●) 部●) O(-部●) O(-部●) 0 0  $\blacktriangle$ ・毎年、出水期前に協議会において、市区町等関係機関と水害対応タイムラインの運 0 0 0  $\blacktriangle$ は、日本の別的に関係される。 日本のでは、日本の別のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本ののでは、日本ののでは、日本 は関係機関と連携して避難訓練等を実施して、明らかになった課題等を踏まえ、避難 勧告の発令基準や水害対応タイムライン等を 見直し ④想定最大規模の洪水を対象とした洪水浸水想定区域図、氾濫シミュ H29年度 (5月頃) 活田 • ・洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの策定・公表 ・内水氾濫の恐れがある地域を対象に内水ハザードマップと合せた情報提供を含めず ル・広域避難を考慮したハザードマップの検討・広域避難を考慮したハザードマップの検討・協議会の場等を活用して、水害ハザードマップの作成、周知及び訓練等への活用に関する優良事例を収集して、適宜、「水害ハザードマップ作成の手引き」を充実し、市区 ⑤想定最大規模の洪水を対象とした水害ハザードマップの策定 水害ハザードマップの改良、周知、活用 H29年度から 順次実施 がに提供・想定最大規模の洪水による浸水想定区域図が作成された場合は、市区町において • 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 速やかに当該浸水想定に基づく水害、ザードマップを作成・周知 ・水害、サードマップの作成・改良後は、国において速やかに国土交通省ハザードマップボータルサイトへ登録し、住民等へ広く周知 ・市区町において、水害、サードマップの訓練等への活用について検討した上で実施 各市区町において、水害リスク情報を踏まえて避難場所及び避難経路を検討し、当該 市区町内の避難場所だけで避難者を収容できない場合等においては、協議会の場等 を活用して、隣接市区町等における避難場所の設定や洪水時の連絡体制等について 食計・調整を実施 ⑥氾濫形態に応じた隣接市区町における避難場所の設定(広域避難体 0  $\blacktriangle$ 制の構築)等 東町・調金で美穂 ・また、必要となる避難場所、避難路の整備にあたっては、河川工事等の発生土砂を有 順次実施 が活用するなど、連携による効率的な整備を実施 平成32年度までに隣接市区町等への広域避難体制を構築

東 7万	†				さ	麦										<del></del>	施する	ババド							:-					
事 項	主な内容	課題	目標時期	五霞	6)	春日	草加	越谷	久喜	八潮	三郷	幸手	吉川	杉戸	松伏	市川	船橋	松戸	野田	柏	流山	浦安	足立区	葛飾	戸	茨城県	埼玉	千葉	東京	気象
具体的取組				町	たま市	部市	市	市	吊	市	市	市	市	Ħ	伏町	市	市	市	市	市	市	安市	区	飾区	区区	県	玉県	県	都	象庁
⑦要配慮者利用施設における避難計画の作成 地下施設、大規模工場への対応等を考慮した避難計画の検討、施設 管理者による計画案の作成の支援	・平成29年度中に、内閣府、消防庁、厚生労働省、県、市、施設管理者等と連携して、 夫庫県、岡山県、岩手県においてモデル施設を選定し、避難確保計画を作成。とりまと めた知見については、協議会等の場において共有。 ・平成33年度までに対象の要配慮者利用施設における避難確保計画の作成・避難訓 縁を実施を目指す。 ・避難確保計画の作成状況、避難訓練の実施状況については、毎年、協議会等の場に おいて進捗状況を確認。 ・平成29年7月に「土砂災害防止対策基本指針」を改訂。	L	H28年度から 順次実施	0	0	0	0	•	0	0	0	O(- 部●)	0	0	0	•	0	0	0		0	0	O(- 部●)	•	•					
2)-1-2平時から住民等への周知・教育・訓練に関する	取組			<u> </u>																					<u> </u>					
①水災害の事前準備に関する問合せ窓口の設置	・問合せ窓口の周知	A•B	引き続き 実施	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	-	
②水災害に関する説明会や避難訓練の開催	・住民向けの水防災に関する説明会や避難訓練の開催 ・イベントでの展示やホームページ等でのイメージ動画等を活用	А•В•К	H28年度から 順次実施	0	O(- 部●)	•	O(- 部●)	O(- 部●)	•	O(- 部●)	•	•	O(- 部●)	0	•	•	•	•	O(- 部●)	•	•	。 (● )	•	•	O(- 部●)	•	•	-	•	•
③教員を対象とした購習会の実施	・都県・自治体による防災説明会の開催 ・河川管理者による出前講座の講習等	А•В•К	H28年度から 順次実施	0	•	•	•	•	0	0	•	O(- 部●)	•	0	0	-	•	•	•	0	0	0	•	0	•	•	•	•	_	•
④	・都県・自治体による防災説明会の開催 ・河川管理者による出前講座の講習等 ・平成29年度に協議会において、防災教育に関する支援を実施する学校を教育関係者 等と連携して決定し、指導計画の作成支援に着手 ・平成30年度末までに、国の支援により作成した指導計画を、協議会の関連市区町に おける全ての学校に共有(防災に関する内容が強化された新学習指導要領に基づく授 業がH32年度から開始されることも念頭に実施)	А∙В∙К	H28年度から 順次実施	0	•	•	•	•	0	•	0	•	•	0	0	•	•	•	•	•	0	0	•	0	•	•	0	•	•	•
日常時から水防災意識の向上を図り、迅速な避難を実現するためのまるごとまちごとハザードマップ」の検討、案内板の整備等	・公共施設や電柱を中心に、看板の設置を実施	A•E•G	H28年度から 順次実施	0	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	0	•	•	0	0	-	0	•	0	•	•					
⑤気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善	・警報等における危険度の色分け表示 ・「警報級の現象になる可能性」の情報提供 ・メッシュ情報の充実化	B•J	H29年度																											•
⑦要配慮者利用施設や地下施設、大規模工場における避難訓練	・避難計画に基づく、避難訓練の支援を実施	E·G·I· L	H28年度から 順次実施	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0					
ト対策の主な取組 (2)-2洪水氾濫による被害の軽減及							<u> </u>																		<u> </u>			1		
<ul><li>2) - 2 - 1水防活動の効率化及び水防体制の強化に関す ①水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練等の実施</li></ul>	る収配 - 無線やメールなどを活用した情報伝達手段の確保 - 情報伝達訓練等の実施	N	引き続き 実施	O(- 部●)		•					•	•	•	•	•	•		•	•		•				<b>A</b>					
②水防団や地域住民が参加し、洪水に対しリスクが高い区間の共同点 検等の実施 重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認	・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検・毎年、出水期前に重要水防箇所や水防資機材等について河川管理者と水防活動に関わる関係者(水防活動に係る建設業者を含む)が共同して点検を実施	N·O	引き続き 実施	•		•					•	•	•	•	•	•		•	•		0			•	•	•	•	•	•	0
③水防団、自主防災組織、消防署等の関係機関が連携した水防訓練 等の実施 水防団間での連携、協力に関する検討	・合同水防訓練や水防管理団体が行う訓練への参加 ・多様な関係機関、住民等の参加により、より実践的な水防訓練となるよう、訓練内容 の検討、調整をして実施 ・協議会の場等を活用し、大規模な氾濫に対してより広域的、効率的な水防活動が実 施できるよう関係者の協力内容等について検討・調整	0	引き続き 実施	•		•					•	•	•	•	•	•		•	•		•			•	•	•	•	•	•	•
④水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定等の促進	・広報紙やホームページ等で広く募集していく	0	引き続き 実施	•		•					•	•	•	•	•	•		•	•		•			0	•					
⑤水防に関する広報の充実(水防団確保に係る取組)	・協議会の場等を活用して、水防団員の募集、自主防災組織、企業等の参画を促すための具体的な広報の進め方について検討の上、順次実施	0	引き続き 実施	•	•	_					0	•	•	0	•	•		•	0		•	0	•	•	•	•				
<mark>ト対策の主な取組 (2)-3-刻も早い生活再建及び社会</mark> 2)-3-1排水活動及び施設運用の強化に関する取組	経済活動の回復を可能とするための排水活動及び施設運用強化の取総	l	1		1																									
①氾濫水を迅速に排水するための排水施設の情報共有および排水手	・協議会の場等を活用して、水害リスク情報を共有するとともに、現況の施設・機材の情報について共有 ・平成32年度までに、長期にわたり浸水が継続する地域などにおいて、排水計画を作	S	H28年度から 順次実施	0	_	O(- 部●)	0	0	•	〇(- 部●)	0	•	•	0	〇(- 部●)	0	•	0	〇(- 部●)	•	0	•	〇(一 部●)	0	•	•	•	•	0	
法等の検討、排水ポンプ車・ポンプ施設の配置計画の検討 排水施設、排水資機材の運用方法の改善及び排水施設の整備等 樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保	/X 各施設管理者において施設の増強や耐水化等の対策を順次実施 - 平成29年度内に津波浸水リスクの高い地域等において、水門等の自動化及び遠隔操作化を優先的に整備する対象施設を抽出し、順次整備を実施							Į.											+					1	1	1	<del>                                     </del>	1		
法等の検討、排水ポンプ車・ポンプ施設の配置計画の検討 排水施設、排水資機材の運用方法の改善及び排水施設の整備等 樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保 ②排水計画に基づく排水訓練の実施	・平成29年度内に津波浸水リスクの高い地域等において、水門等の自動化及び遠隔操	S	H28年度から 順次実施	0	_	•	0	•	-	0	0	•	•	0	•	0	0	0	0	•	•	0	-	•	•	•	0	0	0	
法等の検討、排水ボンブ車・ボンブ施設の配置計画の検討 排水施設、排水資機材の運用方法の改善及び排水施設の整備等 樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保 ②排水計画に基づく排水訓練の実施	<ul><li>・平成29年度内に津波浸水リスクの高い地域等において、水門等の自動化及び遠隔操作化を優先的に整備する対象施設を抽出し、順次整備を実施</li></ul>	s		0	-	•	0	•		0	0	•	•	0	•	0	0	0	0	<b>A</b>	•	0	_	•	•	•	0	0	0	
法等の検討、排水ポンプ車・ポンプ施設の配置計画の検討 排水施設、排水資機材の運用方法の改善及び排水施設の整備等 樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保	<ul><li>・平成29年度内に津波浸水リスクの高い地域等において、水門等の自動化及び遠隔操作化を優先的に整備する対象施設を抽出し、順次整備を実施</li></ul>	s K			_	•	0	•	_	0	0	•	•	0	•	0	0	0	0	<b>A</b>	•	0	_	•	•	•	0	0	0	

具体的な取組の柱										実施する機関						
事項	課題	目標時期	五	さ . い	春日部	草 加	越	<u> </u>	八潮	三郷	幸 手	吉川	杉	松	市川	船
具体的取組			五 霞 町	さいたま	部市	市	越 谷 市	久 喜 市	潮市	掷市	市	市	杉戸町	松 伏 町	市	船 橋 市
大規模氾濫減災協議会の設置											I .	1				<u> </u>
	-	H28年度設置 以降毎年開催								-						
大規模氾濫減災協議会の設置		H28								協議会設置						
	取組状況	H29							水筋法司	R正に伴い法定協議会へ	移行済み					
		H30								フォローアップ						
		H31														
		H32														
		-		_				_	_	§T.			_	_	_	먣
			松戸市	野田市	柏市	流 山 市	浦 安 市	足立区	葛飾区	江戸川区	茨 城 県	埼 玉 県	千葉県	東京都	気 象 庁	関 東 地 整
	-	H28年度設置 以降毎年開催								-						
		H28								協議会設置						
	取組状況	H29							水筋法。	Q正に伴い法定協議会へ	移行済み					
		H30								フォローアップ						
		H31														
		H32														

的な取組の柱										実施する機関						
事項	課題	目標時期	五霞	さ 市た	春 日 部	草加	越谷市	久喜	八潮	三郷	幸手	吉川	杉戸	松伏	市川	船橋市
具体的取組			町	った ま	部市	市	市	市	市	市	市	市	Ħ	町	市	市
ハード対策の主な取組																
1)-1洪水を河川内で安全に流す	対策													I	1	
	Т	H32年度														
優先的に実施する堤防整備		H28														
(天端舗装含む)	取組状況	H29														
		H30														
		H31														
		H32														
	- 1													1		
			松戸市	野田市	柏市	流山市	浦安市	足立区	葛飾区	江戸川区	茨 城 県	埼 玉 県	千葉県	東京都	気象庁	関東地整
	Т	H32年度														・堤防整備(天端舗装含 流下能力対策 L=2.6km 浸透対策 L=6.2km パイピング対策 L=1.4km
		H28														浸透対策 L=0.2km(H28年度完成
		H29														浸透対策 L=0.4km (H29年度完成 流下能力対策 L=0.5km (H29年度完成
	取組状況	H30														浸透対策 L=1,3km (H30年度予収 流下能力対策 L=0,6km (H30年度予収 パイピング対策 L=0,7km (H30年度予収
		H31														
					1	1	1	1						1	1	

な取組の柱										実施する機関						-
事項	課題	目標時期	五	さ 市た	春日	草	越	久	八	=	幸	吉	杉戸	松	市	加加
体的取組			霞町	中たま	部市	市	谷市	喜市	潮市	郷市	市市	川 市	E E	伏町	市	橋市
ド対策の主な取組 -2避難行動、水防活動、排水活動	hir 恣士 Z	甘船竿の数点	•		ı			•	•			1		<u> </u>		1
- C. M. SEL I. W. J. N. W. G. W. J. Tr. A. G. S	H•1	引き続き 実施	・ 防災ラ支援 ・ 防災ラ支援 難行級支援 を表し、等 を表し、等 のにいずして、 のにいずして、 のにいずして、 のにいずして、 のにいずして、 のにいずして、 のは、等 のにいずして、 のは、等 のでは、 のは、等 のでは、	市内572か所に整備しているが、 ・防災した以外を ・防災した対策を ・市、送した人で、 ・市・ムベー・ ・市・大・ファー・ ・アータが、 ・アーを、 ・アーを ・ア・アーを ・アーを ・アーを ・アーを ・アーを ・アーを		・助災無線をアナ ログからデジタル に改良済み	・筋災行政無線について は、H34年12月で現行の アナログ機器が使用でき なくなることから、H33 年度までにデシタル化の 再整備実施に向けて挟討 中。 ・情報配信手段とについ ては、登録制メール、ツ イッター、し I NE、L アラートを整備済み。	年度で防災外に 線のデジタル化更 が登場を ・情報通に ・情報通に ・一のいて、 ・の、 ・のいて、 ・のいて、 ・のいて、 ・のいて、 ・のいて、 ・のいて、 ・のいて、 ・のいて、 ・の、 ・の、 ・の、 ・の、 ・の、 ・の、 ・の、 ・の、 ・の、 ・の、 ・の、 ・の、 ・の、 ・の、 ・の、 ・ ・の、 ・の、 ・の、 ・の、 ・の、 ・の、 ・の、	・H31年度まで固定系的災行政無線のデシタル化整備を実施や・Lアラート、ホメール配信を報告を表表した。 緊急速報メールを整備済み。	はデジタル行政無線 を売満している。 ・移動系無線につい て、デジタル化を検 討している。【H29 〜H32で検討】	・デジタル行政無線を売備 している。 ・防災的犯情報のメール配 億サービスを行っている。	- デジタルが災行政無線の整備 中 [H28] ・情報記憶手段については、市 ホインター、境玉デレビデータ 改送を整備済み。	・デジタル化に向け協議中。	ル化工事を行って いる。【H28完 了】	・無線の屋外スピーカーを増設。	・防災行政無線のアナログだからデジタル方式への整備を 筋中である。「H27~31年度 と登録制の防災情報メール員 を実施している。 ・防災行政無線の屋外拡連 ・防災行政無線がより広範 による高性形ズピカーを 関心する無線がより広範 配こえる高性形ズピカーを 置予定。【H28~】
		H28	-	上配内容を引さ続き実施した。	・平成28年度に防災行政無線 子局190局のデジタル化が完 了した。	_	H33年度までの防災行政 無線デジタル化再整備に 向け検討を行った。		固定系防災行政無 線を30基デジタ ル化整備した。	三郷市メール配信 サービスを開始し た。	メール配信サービスの実施、及びメール登録の推進 を行った。	固定系(同報系)防災行政無線の デジタル化を完了した。 スマートフォンアブリ (Yahoo! 防災連報)での情報発信が行える 体制を整備した。	_	デジタル化工事完了	_	防災行政無線について、実施 備中。
2的災行政無線の増設・デジタル (等の改良、防災ラジオの配布、 イル配信サービスの導入等必要 住の高い取組を各自治体で適宜選 RUて実施	取組状況		<ul> <li>防災行政無線の デシタル化に向け て情報伝達手段の 検討を行う。</li> </ul>	上記内容に加え、 防災ケメールでは をあり、 をあり、 が変え、 が変え、 が変え、 が変え、 が変え、 が変え、 が変え、 が変え	・無線と運動している自動原答 装職者の運用をする中で、は 仮わりやすい情報発信について 検討を実施した。	-	H33年度までの筋災行政 無線デジタル化再整備に 向け、引き続き検討を 行った。	防災行政無線のデ ジタル化更新整備 工事継続。	固定系防災行政無 線を6基デジタル 化整備する。	・防災無線(移動 系)のデジタル化を 進めていく【H29〜 H32で検討】	メール配信サービスの実施、及びメール登録の推進 を行った。	メールやスマートフォンアプリ 管領報配信ツールを使用した情 報配信の実施及びメール登録等 の推進を行った。	デジタル化導入手 法の検討	デジタル化工事完 了	-	防災行政無線について、一8 手。
		H30	・デシタル化に向 けて実施設計予定	言き続き上記シス テムの保守管理に 努める	・引き続き登録制メールの配信 サービスの登録推進を行ってい く。	・引き続き筋災行 政用無線(デジタ ル)を適正に管理 し、情報配信方法 等について検討し ていく。	H33年度までの防災行政 無線デジタル化再整備に 向け、実施設計を行う。	防災行政無線のデ ジタル化更新整備 工事継続。	固定系防災行政無 線を8基デジタル 化整備する。	引き続き防災無線(移動系)のデジタル化を 進めていく。	引き続きメール配信サービ スの実施、及びメール登録 の推進を行う。	引き続きメールやスマートフォ ンアブリ等情報配信ツールを使 用した情報配信の実施及びメー ル登録等の推進を行なう。	デジタル化設計業 務開始	デジタル化工事完了	-	防災行政無線について、整備 継続。
		H31														
		H32														
			松 戸 市	野 田 市	柏市	流 山 市	浦安市	足 立 区	葛飾区	江 戸 川 区	茨 城 県	埼玉県	千葉県	東京都	気 象 庁	関 東 地 整
	н• і	引き続き 実施	・デジー・デット できない かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい か	に設備を売備、 H25年度から運 用)	・節災庁原輸修を整備している (デジタル化送外 ・節災情報のメール配信体制を 構築している。	制の無線設備を計	- 筋災ラジオの有償配 市、フリータイヤルの設 定	・筋災行政無線 の デジタル化を 八名 8年度実施設計、 29から31年度でデ シタル化の工事を 予定。	希望する聴管・神	・防災行政無線のデ ジタル化を進めてい る。【H27〜31】						
			情報伝達手段の拡 張については随時 検討を行ってい く。	・継続して実施中。	継続して取り組んで行く	実施に向けて検討 していく。	・防災ラジオの有償配 布、フリーダイヤルの股 定を行っている。	実施設計中	要配慮者利用施設 に電話・FAXによ る避難情報発信シ ステムについて紹 介をして、希望す る施設を登録した	防災無線のデジタル 化を継続中。						
		H29	張については随時 検討を行ってい く。	Ф.	継続して取り組んで行く	次期総合計画 (H32〜) への位 置付けを検討		始予定 固定系防災行政無 線を10局デジタ ル化整備する。	電話・FAXで避難 情報を発信する対象者の登録件数を 増やす	化を継続中。						
	取組状況	H30	情報伝達手段の拡 張については随時 検討を行ってい く。	・今までのものに 合わせ、Jアラート から配信されるー 部情報を登録制 メールにて配信する ることを検討する	継続して取り組んで行く	スプリアス規制に 対応した機器に更 新するための検討 を行う。	継続して取り組んで行 く。	固定系防災行政無 線を70局デジタ ル化整備する。	電話・FAXで避難 情報を発信する対 象者の登録件数を 増やす	防災無線のデジタル 化を継続。						
		H31							電話・FAXで遊難 情報を発信する対 象者の登録件数を 増やす 電話・FAXで遊難							
		H32							電話・FAXで避難 情報を発信する対 象者の登録件数を 増やす							

具体的な取組の柱										実施する機関						
事 項	課題	目標時期	五	さ	春日	草	越	2	八	=	幸	吉	杉戸	松	市	<u>#1</u>
具体的取組			霞町	市 た ま	部市	市	谷市	喜市	潮市	郷市	手市	川 市	ET ET	伏町	市	橋市
(1)ハード対策の主な取組 (1)-2避難行動、水防活動、排水活動	かご答する	其般等の整備	*			*	<u> </u>			*			*	-	*	
②浸水時においても災害対応を経 続するため、庁舎や重要施設が共 水炭水想定区域がにある場合、施 設室等や自身発音器であっておい	R	無無等の企画 H28年度 から 順次実施	<ul><li>・庁舎の建て替え に合わせて、浸水</li></ul>	設置する消防庁舎	<ul> <li>・災害対策本部を投票する庁舎 は浸水想定域に入っていない</li> </ul>	電設備等の耐水化 等について検討し ていく。【H28 ~】	・災害対策未報を投資する庁舎は退水部定域に入っていない	市役所3階に段置さ れるので浸水はな いと考える。 ・自な発電装し もかさ上おり、浸水 被害がないものと 考える。	域内にあり、浸水 が発生する必水 する恐されがある本 が、性質が があるが、性質が が、性質が が、性質が が、性質が が、性質が が、性質が が、性質が が、性質が が、性質が が、は、本即である。 が、は、本ので、 でいたがで、 がいて、 がいで	・庁舎は漫水部定区 域にあるが、本部を 3階に設備すること により災害対応を継 続	階に設置されるので浸水は ないものと思われる。	- 西川市協宗本庁会、第2庁会 の総称に即せて、自家発電装置 の耐水化を実施 ・ 可報迄の予整機の開達につい て民間事業者と協定締結	・災害対策本部段 適されているので、浸水想定区域 に入っているので、浸水想定区域 に入っているは 自家発電も同様には いっていない。	の間達について民間事業者と協定締括している。	階に段置されるので、浸	設置することとしている。ま た、市役所は止水板を設置する ことにより浸水に対する備えを
等について浸水深等、必要性、重 要性に応じて柔軟に対応又は対応 の働きかけ		H28	-	-	市庁舎・消防本部は浸水想定区 域外である。	<ul><li>・庁舎寺の日家発電設備について耐水化を確認。</li></ul>	_	H27年度自家発 電装置等を高所に 設置し、浸水対策	実施済み	-	災害対策本部を設置する庁 舎は、浸水対策は取れてい る。	災害対策用可搬式発動発電機を 購入した。	-	庁舎自家発電設備 の整備について検 討する。	-	-
市区町庁舎や災害拠点病院等の 機能確保のための対策の充実(耐 水化、非常用発電等の整備) 市区町庁舎や災害拠点病院等の 施設関係者への情報伝達の充実		H29	-	災害拠点病院等に ついては、担当部 局と必要に応じて 今後協議する。	-	-	-	_	実施済み	-	災害対策本部を設置する庁 舎は、浸水対策は取れてい る。	新庁舎移転に併せて、屋上へ自 家発電装置を設置【H29~ H30】	-		・仮本庁舎4階へ移転済 み (H29.5)	-
BOOKPOINTE WITH WILLEWISE	取組状況	H30	-	_	-	・新庁舎建設に向け、浸水に耐えう る施設整備等を検 討していく。	-	災害拠点病院への 情報伝達及び対応 について、検討を おこなう。		市庁舎及び災害対策 本部が設置される消 防防災庁舎(3階) について、自家発電 装置は屋上に設置し ている。	-	-	・災害対策本部 は、庁舎2階に設 置されているの で、浸水想定区域 に入っていない。 自家発電について は、対応済み。	庁舎自家発電設備 の整備について検 討する。	-	-
		H31														
		H32														
			松戸市	野田市	柏市	流山市	浦安市	足 立 区	葛飾区	江 戸 川 区	茨 城 県	埼 玉 県	千葉県	東京都	気 象 庁	関 東 地 整
	R	H28年度 から 順次実施	市役所ともに浸水 エリアにはなって いないため、可能	り離れており浸水 の想定はしていな いが、今後必要	・市の重要施設は、浸水部定区 域に入っていない。	<ul> <li>必要性、重要性 に応じて柔軟に対 応する。【H32】</li> </ul>	<ul> <li>平成28年度電気股偏及 びサーバー室を、上層階 に設置した新庁舎を建設 した。</li> </ul>	に、止水板が設置 できる構造となっ ている。また、建ン 力が設置して、建ン 力が設置してあり、非常電源の耐 水化は図られてい る。	活用した自家発電 の導入について、 検討をしている。 また、庁舎のせて、 きえに合わせて、 漫水対策としての 設備の検討を行 う。【H28】	・本庁舎については 浸水深以上の2階に 非常用電売を確保。 小中学校ではの倉庫を 名と間にを検討してい を を は を は の に は の に に の に に の に に の に に は に に は に は						
		H28	今後必要性、重要 性が生じた場合に は柔軟に対応す る。	今後必要性、重要 性が生じた場合に は柔軟に対応す る。	該当なし	浸水等の状況を考慮して検討してい く。	・平成28年度電気設備及 びサーバー室を、上層階 に設置した新庁舎を建設 した。	実施済み	継続して検討をし ている	水害時の対応に配慮 した学校改築を継続 中。						
	取組状況	H29	今後必要性、重要 性が生じた場合に は柔軟に対応す る。	災害時に医療教護 所となる市内病院 へMCA無線機を 整備する予定。	該当なし	次期総合計画 (H32~)への位 圏付けを検討	実施済み	-	継続して検討をする	水書時の対応に配慮 した学校改築を継続 中。						
	AXERIAN DE	H30	今後必要性、重要 性が生じた場合に は柔軟に対応す る。	今後必要性、重要 性が生じた場合に は柔軟に対応す る。	該当なし	次期総合計画 (H32~)への位 圏付けを検討	市庁舎については実施済 み。 災害拠点病院等の対策に ついては検討していく。	_	న <u>ె</u>	水書時の対応に配慮 した学校改築を継 続。						
		H31							継続して検討をす る							
		H32							継続して検討をす る							

本的な取組の柱										実施する機関						
事 項	課題	目標時期	五	さ	春日	草	越	<u> </u>	八	=	幸	吉	杉	松	市	船
具体的取組			霞町	市た ま	部市	加市	谷市	喜市	潮市	郷市	手市	川 市	戸町	伏町	市	橋市
ハード対策の主な取組					l .		1								I .	
1) — 2避難行動、水防活動、排水活動	P・Q		・当町他3市1町 で構成している水 防事務組合の水防 計画に基づき計画を 立てている。 ・適更新及び適切 な管理を行う。 【H28】	・H29年度に新規 で水防倉庫を1箇所 設置するとともに 適切な管理を行 う。	・土のう、トラローブ、シート、スコップ等を水筋倉庫に保 管している。 ・年に一度点検している。 ・適宜、水防機材の更新及び 適切な管理を行う。【H28 ~】	備蓄倉庫等に備蓄 ・適宜、水防資機 材の更新及び適切	・水防資機材等について は、2箇所に配備してい る。 ・適宜、水防資機材の更 新及び適切な管理を行 う。	・ 久喜市を含む5 市町下書名は、利根川路台(利根川路台(東京 新羅台、東京 新羅台、東京 東線村で、下でしている。 ・ 適宜 新及び から できない ない ない ない ない ない ない ない ない はい ない はい ない はい ない はい ない はい	いる。定期的に土 のうを作成し、計 画的に保管する。	・水防団が利用しや すいように資機材の 配置計画を立てい る。 ・適宜、水防資機材 の更新及び適切な管 理を行っている。	倉庫に資機材が配備されて いる。	・必要資材は筋災備蓄倉庫等に 備蓄 適宜、水筋資機材の更新及び 適切な管理を行う。【H28~】	・町内3箇所の水 防倉庫に水防資機 材を配備してい る。 ・適宜、水防資機 材の更新及び適切 な管理を行う。 【H29】	やすいよう、資機 材の充実を図る。 ・適宜、水防資機 材の更新及び適切	・資機材の充実を図るとともに適切な管理を行う。(H28~) 水的倉庫を市内10箇所に 設置済み	・水防で使用するための資機材を が所の水貯倉庫に配慮している。 ・水市倉庫 1 か所には約2000号 土のうを保管している。また、8 助着でも市民用に土のうを配布 いる。 ・拠点防災倉庫に小型の様水水2 を配慮している。また、8 海底 を配慮している。また、8 海底 も市民用に排水水ンプを配布して る。
01.00754775577514074		H28	-	H29年度に新規で 設置予定。	出水期前に水防倉庫の点検を実 施した。	・関係課と情報共 有を実施。	<ul> <li>適宜、水防資機材の更新及び適切な管理を行った。</li> </ul>	水防事務組合にて 水防資機材の管理 をしている。	実施済み	-	水防事務組合において資機 材の適正な管理を行った。	水筋資機材を購入した。	・引き続き水防機 資材の更新及び適 切な管理を行って	今年度実施予定なし	<ul><li>適宜点検を実施</li></ul>	-
③水防活動を支援するための新技 術も含めた水防資機材等の導入の 検討を含めて柔軟に対応		H29	-	新規で水防倉庫を1 箇所設置 出水期前の点検、 維持管理を実施。	出水期前の点検、維持管理を実施した。	<ul><li>必要な水防機資材の更新及び点検 等を実施した。</li></ul>	<ul> <li>適宜、水防資機材の更 新及び適切な管理を行っ た。</li> </ul>	水防事務組合にて 水防資機材の管理 をしている。	実施済み	-	水防事務組合において資機 材の適正な管理を行った。	水防資機材の適正な管理を行っ た。	・引き続き水防機 資材の更新及び適 切な管理を行って いく。	実施済み	• 適宜点検を実施	-
	取組状況	H30	-	引き続き出水期前 の点検、維持管理 を実施する。	・引き続き、水防資機材の点 検、維持管理を実施する。	・引き続き水防機 資材の導入等検討 を行う。	・適宜、水防資機材の更 新及び適切な管理を行 う。	引き続き、水防事 務組合にて水防資 機材の管理をす る。	水防災資機材倉庫 の設置。	-	引き続き、水防事務組合に おいて資機材の適正な管理 を行う。	水防資機材を適正に管理する。	・引き続き水防機 資材の更新及び適 切な管理を行って いく。	水防資機材を適正 に管理する。	<ul><li>適宜点検を実施</li></ul>	-
		H31														
		H32														
				1												
			松戸市	野田市	柏市	流 山 市	浦 安 市	足 立 区	葛飾区	江戸川区	茨 城 県	埼 玉 県	千葉県	東京都	気 象 庁	関 東 地 整
	P·Q	H28年度 から 順次実施	・水防団が利用し やすいように資機 材の配置をが断し 間に則り配備 に削り配備 いる。 ・適宜、水防資機 材の更新及びななっ ている。【実施 中】	・土のうや縄など の水防資機材は市 内らか所に配備し ている。 ・適宜、水防資機 材の更新及び適切 な管理を行う。 【H28~】	・安全帯、ライフジャケット等 安全装備資機材を配置してい る。 ・適宜、水防資機材の更新及び 適切な管理を行う。【H28】	排水機場、下花輪 資材置き場、各消	<ul> <li>・土のう、スコップ、ペンチ、鏡、掛矢、鏡を配備</li> <li>・適宜、水防資機材の更新及び適切な管理を行う。【H29~】</li> </ul>	東京都水防計画の 資材標準備蓄品目 を参考に資機材を 保管している。 ・適宜、水防資機 材の更新及び適切 な管理を行う。 【H32】	ている ・適宜、水防資機	・2 t ポンブ車1台 を保有している。 ・水防資機材は区内 の資材倉庫に分散し て配備、管理してい る。	・水筋資機材の充実を図る。【日28~】 ・今後、水筋資機材の補充・追加等の際には、新技 術を活用した水筋資機材に よる配備充実を検討する。 【日28~】	・適宜、水防資機材の更新及び 適切な管理を行う。【毎年継 続】	・適宜、水防資機 材の更新及び適切 な管理を行う。 【毎年継続】			- 資機材等の配備
		H28	年度内に資機材の 補充を実施する予 定	継続中	継続して更新・管理を行なう	水防資器材の適切 な更新、管理を行 う。	・士のう、スコップ、ペンチ、銀、掛矢、鎌を配備した。 ・平成29年度より、適宜、水炉資機材の更新及 び適切な管理を行う。	数命胸衣などの水 防資路材を新規で 配備した	ゴムボートの拡大	区民がいつでも自由 に土のうを取り出せ る置場(土のうス テーション)を10箇 所増設。(全38箇 所・災害救助用ボート を平成28~304年度 の3箇年計画で消防 団26分団に配備。	今年度末までに、各出先事 務所へ『水のう』を配備す る。	-	継続実施	・適宜、水防資機 材の更新及び適切 な管理を行ってい る。		<ul> <li>適切な管理をし、必要数 補充するようにしている。</li> </ul>
	取組状況	H29	継続して資機材の 補充等を実施する 予定		継続して更新・管理を行なう	ジャッケト配布の 拡充。	宜、水防資機材の更新及 び適切な管理を行う。	水防資機材を更 新。	ゴムボートを新た に3艇拡大する	艇を消防団に分散配 備。	及び適切な管理を行う。	水防資機材の保管状況の確認・ 補充を行った。		・適宜、水防資機 材の更新及び適切 な管理を行ってい る。		・資機材の必要数量についる 補充済み。
		H30	継続して資機材の 補充等を実施する 予定	継続して管理を 行っていく	継続して更新・管理を行なう	水防資器材の適切 な更新、管理を行 う。	継続予定。	水防資機材の更新 及び適切な管理を 行う。	ゴムボートの拡大 について検討	災害救助用ポートを 消防団に配備予定。	<ul> <li>適宜、水防資機材の更新 及び適切な管理を行う。</li> </ul>	継続実施予定	継続実施予定	<ul> <li>適宜、水防資機 材の更新及び適切 な管理を継続して 行う。</li> </ul>		-
		H31							消防団に貸与する ゴムボートの拡大 について検討							-
									消防団に貸与する ゴムボートの拡大							

体的な取組の柱										実施する機関						
事項	課題	目標時期	五霞町	さ 市た	春日部	草加	越谷市	久 喜 市	八潮	垂郷	幸 手	吉川	杉戸	松伏町	市川	船橋市
具体的取組			町	ま	市	市	市	市	市	市	π̄	<del>т</del>	Ħ	町	市	市
1)ハード対策の主な取組 (1)-2避難行動、水防活動、排水活	<b>動に資する</b>	基盤等の整備														
	N	引き続き実施														
年水節団の円滑な水的活動を支援 するための陶場水位計や重水様、 CCTVカメラ等の設置 危機管理水位計、別川監視用	ž	H28														
た機合で生かれば、20mmが用 カメラの整備	取組状況	H29														
		H30														
		H31														
		H32														
			松戸市	野 田 市	柏市	流 山 市	浦 安 市	足立区	葛飾区	江戸川区	茨 城 県	埼 玉 県	千葉県	東 京 都	気 象 庁	関 東 地 整
	N	引き続き実施														・簡易水位計、カメラ等の設績
		H28														・危険箇所における簡易水位 とカメラの設置を完了。
	取組状況	H29														-
		H30														危機管理型水位計を設置予定
		H31														

R題 目4									実施する機関						
	標時期	五 霞 町	中 半づいみ	春 日 部	草加	越谷	久 喜 市	八潮	三郷	幸 手	吉川	杉戸	松伏町	市川	<b>船</b> 橋
		町	叩た ま	部市	市	市	市	市	市	市	市	町	町	市	市
マナス 其般:	等の整備		,					•	•						
C7 UEIM	TE SHE														
· Q 31	き続き														
	失應														
												水防倉庫の建替え (1節形)			
												(188)			
ŀ	H28														
11状況	H2Q														
	1120														
F	H30														
H	H31														
H	H32														
		#//	BΣ		**	诸	D.	=	江	**	tĠ	I	市	=	関
		声市	<b>H</b>	柏市	Ш	安市	立区	飾区	Ш	城県	玉県	葉県	京都	象庁	東地
			·		·		_	_	×	***		***	-	·-	整 ・水防用土砂等の資機材の
•Q 31	き続き 実施														
															・各所に側帯として水筋用 を確保している。
															ZIENO CVIO
ŀ	H28														
															<ul><li>資機材の必要数量につい 補充済み。</li></ul>
且状況															
ŀ	H29														
ŀ	H30														<ul><li>・吉川防災ステーションの を予定。</li></ul>
F	H31														
-	H32														
· ·	Q 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	Q 引き続き H28 H29 H30 H31 H32	H28 H29 H30 H31 H32  松戶市  Q Sièssiès  #KR H29 H30 H31 H31 H30 H31	Q 引き続き H28 H29 H30 H31 H32 VXP市 P市 P市 R28 H28 H29 H30 H31 H28	Q SièMè H28 H29 H30 H31 H32 松戸市 野田市 柏市 Q SièMè 「中市 日本	H28	H28	H28	H28	H28	No.   No.	1-23	0     1988       MS     120       140     140       141     140       151     151       162     151       163     151       163     151       163     151       163     151       163     151       164     151       165     160       166     160       160     160<	1-28	Page   Page

1	### 日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日										実施する機関						
日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	1	課題目	目標時期	五霞	さ 市 も	B		越谷	久 喜		=郷	幸 手	吉川	杉戸	松伏		船橋
1-10   1-10	- 14/11 (中間で 1975年) 中の 1975年 (中間で 1975年) 1980年			町			市	市	市	市	市	市	市	₩Ţ	⊞J	市	市
1   1   1   1   1   1   1   1   1   1	1	ナた迅速かつ的確な避難行	行動のための	D取組													
### 100	Page	H28	・ メ エ 信 128年度から 町	・災害時には、 ベールマガジン、 エリアメールが配	・ブッシュ型メールの配信手続き 【H29】	・ブッシュ型メールの配信す き【H29】	続・ブッシュ型メールの配信手続き 【H29】	・ブッシュ型メールの配信手続き【H29】	・ブッシュ型メールの配信手続き 【H29】	・ブッシュ型メールの配信手続き 【H29】	・ブッシュ型メール の配信手続き 【H29】	・ブッシュ型メールの配信 手続き [H29]	・ブッシュ型メールの配信手続き [H29]	・ブッシュ型メー ルの配信手続き 【H29】	・ブッシュ型メー ルの配信手続き 【H29】	・ブッシュ型メールの配信手続き【H29】	・ブッシュ型メールの配 き【H29】
BBBKK   1/29	### 1/20	t水予報、水 ムの情報提供 II管理者から	H28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1831   1832	1-32	ROSAS PERO	H29	-	ル配信についての	<ul><li>ブッシュ型メール配信につての回答</li></ul>	・ブッシュ型メー ル配信についての 回答	・ブッシュ型メール配信 についての回答	ル配信についての	ル配信についての	・ブッシュ型メール 配信についての回答	・ブッシュ型メール配信に ついての回答	・ブッシュ型メールの配信手続 き【H29】	ル配信についての	ル配信についての 回答 ・ホットライン構	・ブッシュ型メール配信 についての回答	・ブッシュ型メール配信 ての回答
Ho	H32		H30														
放	投入   野   中   中   市   市   市   市   市   市   市   市		H31														
日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本		H32														
17.79/2 日本	1			戸	⊞	柏市	Ш	安	足立区	節	戸川	城	埼 玉 県	葉	京	象	関東地整
H28	H28	н-। В	ルのこと	レの配信手続き 【H29】	メールである。 ・ 一小であるメールであるメールでなり、 ・ 「記憶では、 ・ であるメーリーの一でのでは、 ・ であり、 ・ でもり、 ・ でもり、 ・ でもり、 ・ でもり、 ・	・ブッシュ型メールの配信 き (H29)	ルの配信手続き	・ブッシュ型メールの配信手続き【H29】	・ブッシュ型メー ルの配信手続き 【H29】	ルの配信手続き	<ul><li>ブッシュ型メール の配信手続き</li></ul>						・洪水予報等の情報発信 ていく。 ・水位計やライブカメラ をリアルタイムで提供す ・ブッシュ型メールの配
H29   RMR	H29 即総状況		H28		2	-	-	-	_	-	-						・洪水予報等の情報発信 た。 ・水位計やライブカメラ をHP等で提供。 ・水防部会にて連絡体制
+ 利望的的体 ル フッシュ型 て配金学品 - 態盤会にで連				・内容がわかり次 移検討していく	・継続して、実施中。	・ブッシュ型メール配信につ ての回答	・ブッシュ型メー ル配信についての 回答	当市に係る全ての基準観 測所について、洪水情報 のブッシュ型配信を希 望。	・ブッシュ型メー ル配信についての 回答	・ブッシュ型メー ル配信についての 回答	・ブッシュ型メール 配信についての回答						を ・ ブッシュ型メール配便 ての意向調査。 ・ 水防部会にて連絡体制 認。
H30	H30	取組状況															<ul><li>希望自治体に、緊急 ル (ブッシュ型メール)</li></ul>
H31																	で配信予定。 ・協議会にて連絡体制を
	H31		H31														

具体的な	な取組の柱										実施する機関						
4	14 項	課題	目標時期	五霞	さ 市た	春日	草 加	越谷	久 喜	八潮	=郷	幸 手	吉川	杉戸	松伏	市川	船橋
	具体的取組			H)	ま	部市	市	市	市	市	市	市	市	₩Ţ	₩Ţ	市	市
2)ソフ (2)ー	ト対策の主な取組 1逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ 	的確な避難	惟行動のため	の取組				•			•						
(2)-	1 一 1 情報伝達、避難計画等に関	r C・D	H28年度 から	・避難判断マニュアルの見直しに合わせて、夜間、荒天時におけるる基準 勧告等の発基準を接続導体制ついて検討していく	・避難準備、避難 動告及び避難指示 の判断・伝達マ ニュアルを作成済 み【H27】	・遊類事構、避難動告及び避難 指示の判断・伝達マニュアルを 作成済み【H28】。 ・今後、マニュアルの検証を 行っていく。【H28~】		・避難勧告等判断・伝達 マニュアルの作成につい て検討していく【H30】	<ul> <li>・遊難判断マニュアルの作成を検討していく【H28</li> </ul>	<ul> <li>遊難誘導体制の 検討を行う。 【H29~】</li> </ul>	・避難勧告等の発令 基準は避難の準備や 移動に要する時間を 設定することになっ ている。夜間、荒天 時の発令について検 討する【H29~】	・避難勧告等判断・伝達マニュアルの作成について検 対していく【H29】	・現在の避難勧告等の発令基準・存 を元に、夜間における基準・体 制を検討する。【H28~】	<ul> <li>避難判断マニュアルの作成を検討中。</li> </ul>	・避難判断マニュアルの作成を検討中	<ul> <li>避難判断・伝達マニュアルの修正中。【H28 ~】</li> </ul>	・現在の避難勧告等の発令基準を を元に、夜間における基準・体 制を検討する。【H28~】
			H28	-	適宜、マニュアル の見直しを行っ た。	避難準備情報等の名称の変更に 伴い、内容の修正を行う。【平 成29年1月~】	-	-	検討中	避難誘導体制の検 討を行った。	-	-	現在の避難勧告等の発令基準を 元に、夜間における基準・体制 の検討を行った。	=	今年度実施予定なし	<ul> <li>・避難判断・伝達マニュ アルの修正中。【H28 ~】</li> </ul>	-
9	②夜間、荒天時における避難勧告 序の発令基準の作成及び避難誘導 本制の検討		H29	-	-	内容の充実を図るため、検討を 実施した。	-	-	ガイドライン、作 成済み他市町村の マニュアルを収 集、近難判断マ ニュアルの作成検 討を行った。	避難誘導体制の検 討を行う。	・避難勧告等の発令 基準は避難の準備や 移動に要する時間を 設定することに いる。 夜間、荒天 時の発令について検 討する【H29~】	・避難勧告等判断・伝達方法について検証した。	引き続き、夜間における基準・ 体制の検討を行った。	マニュアル作成の検討	マニュアルを作成した。	・避難判断・伝達マニュ アル修正済み (H29.6)	摂在の避難勧告等の発令基準を 元に、夜間における基準・体制 の検討中
		取組状況	H30	-	-	・引き続き避難誘導体制の充実 を検討する。	・引き続き避難判 断基準等について 検証していく。	-	避難判断マニュア ルの作成を検討	避難誘導体制の検 討を行う。	準は避難の準備や移	・避難勧告等判断・伝達方法のマニュアル化について 検討する。	引き続き、夜間における基準・ 体制の検討を行う。	・引き続き避難判 断マニュアルの作 成を検討中。	作成済	<ul><li>適宜修正していく</li></ul>	現在の避難勧告等の発令基準を 元に、夜間における基準・体制 の検討を行う。
			H31														
			H32														
				松戸市	野田市	柏市	流山市	浦安市	足立区	葛飾	戸川	茨 城 県	埼玉	千葉	東京	気象	東地
				ιþ	1,10		· ·			☒	⋉	ж	県	県	都	庁	整
		C.D		・夜間、荒天時に等かのでは、荒天時に等かり発令を受ける。 のでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	・現在、水害に対 する避難の判断基	・避難勧告の発令基準は策定済 み。 避難誘導体制について検討して いく。。 【FE29~】	<ul> <li>夜間や荒天時等における避難勧告</li> </ul>	- 平成27年度修正の地域 防災計画に基づき、今 後、マニュアル号の作成 について保持する。 [H29~]	ル、広報車などに	・夜間、荒天時に あいては既に定め ている基準よりも 早い段階で遊難情 報を発令すること とする 【H28】		ж.	県	県	都	庁	
		C·D	H28年度 から 順次実施	・夜間、荒野時に おける を がける を が が が が が で で は さ が で は さ が で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に を が に で た に で た が に で た が に で た が に で た が さ と が さ と が さ と が さ と が さ と で と で と で と で と で と で と で と で と で と で と で と で と で と で と で と で と で と で と さ と も さ と さ と さ と さ と さ と さ と も さ と さ と も も も も も も も も も も も も も	・現在、水害に対する避難の判断基準については、定め 球筋炎計断地域筋炎計断地域筋炎計である。 ・多くの情報に対応するにあたり、 適切かでいい。 適切がでいい、 での必要性を検討する。 【H28】	み。 避難誘導体制について検討して いく。 [F/29~] 避難誘導体制について、来年度	・夜間や荒天時等 における遊舞勧告 等の発令基準性に いては、必要性に ついて検討し、柔 軟に対応する。 【H29~】	・平成27年度修正の地域 防災計画に基づき、今 後、マニュアル等の作成 について検討する。	ル、広報車などに よる周知を具体的 に検討する【H28 〜】	・夜間、荒天時に おいては既に定め ている基準よりも 早い段階で避難情 報を発令すること とする	・広域避難の促進を 目的とした、自主広 域避難の呼掛け、広 域避難動告といった 早期段階における避	<i>7</i> 4	票	県	都	庁	整 ・ 作成に必要な情報の提供およ
			H28年度 から 順次実施 H28	・皮障、飛天時にきない。 ・皮障、飛天時にきない。 がける発を基内の現代を基準ない。 は、含準をより、 は、含準をより、 は、含準をは、 は、できない。 は、できなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	・現在、水雪に対する遅端の判断を 構については、地域的災計画で定めている。 ・多くの情報の対象があたり、 激切な判断や的災 激切な判断や的災 でのであるについての必要性を検討する。 LH281 進切な判断や的災 がしている。 をしている。 をしている。 をしている。 はのないまする。 はのないまする。 はい。 はいる。 はい。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 は、 は、 は、 は、	み。 避難誘導体制について検討して いく。 [F/29~] 避難誘導体制について、来年度	・夜間や荒天時等 における避難から における避難から いては、必要性に かいて検討し。 (ド29~) 地域筋災計画の修 正正基づき検討し でしく。	・甲成27年度修正の地域 防災計画に基づき、今 根、マニコアル等の作成 について検討する。 (1-29~) ・甲成29年度から甲成27 年度修正の地域的災計画 に基づき、今後、マニュ アル等の作成について検	ル、広報率などによる周知を具体的に検討する【H28~】 「特別する【H28~】	・夜陽、荒天時においては既に定めている基準よりもでいる基準よりも早い段階で遊覧情を発うすることとする (H28)	区・	<i>7</i> 4	県	県	88	庁	整 ・作成に必要な情報の提供およ び策定を支援 ・作成に必要な情報の提供や策
		C・D	H28年度 から 順次実施 H28 H29	・夜間、荒天時にすいない。 ・夜間、荒天時にすいない。 がける遊離動出ついは 免令基準に安全の長候 になきぬきない。 「H28~】 「H28	・現在、水害に対する足域の判断基準を記しいでは、 ・多くの情報に対して、 ・多くの情報に対して、 ・多くの情報に対しての必要性を検討 についての必要性を検討 (1年28) ・	み。 温難誘導体制について検討して いく。 (1七29~) 通難誘導体制について、来年度 以降検討とする。	・復開や飛天時等 における影響にから はの発令影響にからいて検討を かいて検討を がに対応する。 「In 20~」 が直接が が変数した がに対応する。 「In 20~」 が直接が が変数した がでして がいて がある。 が変数した がった。 を、 がった。 を、 がった。 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、	・甲成27年度修正の地域 防災計画に基づき、今 根、マニュアル号の作成 について検討する。 (1/29~) ・甲成29年度から甲成27 年度修正の地域防災計画 に基づき、今後、マニュ ・甲成29年度から甲成27 ・甲成29年度から甲成27 ・甲成29年度から甲成27 ・甲成30年度から甲成30 ・甲成30年度からりのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	ル、広報率などによる周知を具体的に検討する【H28~】 「特別する【H28~】	・夜間、荒天時においては様に定め おいては様に定め もいいの間でありません。 といいの間であること して検討中 となる して検討中 となる して検討する として検討する	区 ・広境運搬の促進を 自的とした。自主な は運搬の砂料とした。 は運搬の砂料という。 は運搬の砂料という。 取情報の外表を検討 中。 「東ち区広境運搬性 進線網会を立ち上げ 検討中。 「東ち区広境運搬性 進線網会を立ち上げ	<i>7</i> 4	票	県	都	庁	・作成に必要な情報の提供および策定を支援 ・作成に必要な情報の提供や策定の支援体制を確保している。 ・作成に必要な情報の提供や策定の支援体制を確保している。
			H28年度 から 順次実施 H28	・映画、東美術と ・映画、東美術と ・技術と発達権に立った。 ・技術と ・技術と ・技術と ・技術と ・技術と ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学	・現在、水画に対する混解の判断系 類体にのいては、 でいる。 情報に対している。 情報に対している。 情報に対している。 情報に対している。 情報に対している。 情報に対している。 情報に対している。 情報に対している。 情報に対している。 情報に対している。 一種では、判断で加い。 は、判断で加い。 は、判断で加い。 は、判断で加い。 は、判断で加い。 は、判断で加い。 は、判断で加い。 は、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、	タ。 温質誘導体制について検討して いて、 (Fi29~) 連覧誘導体制について、来年度 以間検討とする。 連覧誘導体制について検討する。	・皮脂や荒天時等 における光明線に における影響をしいては、接触をは またいない。 がに対応する。 【H29~】 地域防災計画の修 正と基づき検討し 過難行動マニュアル等の作成を検討 の場合が成を検討 過難行動マニュアル等の作成を検討	・平成27年度修正の地域 防災計画に基づき、今 根、マニュアル号の作成 について機計する。 に29~ ・平成29年度から平成27 年度修正の地域的災計画 に基づき、今後、マニュアル号の作成について検 計する。 ・平成29年度地防災計画 に基づき、今後、マニュアル号の作成について検 計する。 ・平成29年度から平成27 を表していてを対する。 ・平成29年度から平成27 を表していてを対する。 ・平成29年度から平成27 を表していてを対する。 ・平成29年度から平成27 ・平成29年度から平成29年度から平成27 ・平成29年度から年度から年度がらから年度がらから年度がらから年度がらから年度がらから年度がらから年度をから年度がらから年度がらから年度がらから年度がらから年度をから年度がらから年度がらから年度がらから年度がらから年度をから年度を	ル、広報車などにか、 水 広場対する 【 H 28	・夜間、荒天時においては既に定めている墓等よりや 知い現場をよりや 知い現場では関係をある。と 「日28」 建雑誌等体制について検討中 して検討する	・広ば温度の促進を 自的とした。自主広 域温度の野田といった。 は温度の野田といった 域温度の野田といった 域温度の野田の大力で必要 関係の外表を検討 中。 江東ち区広域温度性 域協議会立方上げ 建協議会において 連協議会において 東ちの広域温度性 対中。	<i>T</i>	票	県	88	庁	* 作成に必要な情報の提供および策定を支援  ・作成に必要な情報の提供および策定を支援  ・作成に必要な情報の提供や策定の支援体制を確保している。  ・作成に必要な情報の提供や策定の支援体制を確保している。  ・作成に必要な情報の提供や策

な取組の柱										実施する機関						
事項	課題	目標時期	五	さ	春日	草加	越炎	久喜	八油	=	幸	吉	杉戸	松	市	船
具体的取組			暫	市 た ま	部市	市	谷市	市	潮市	郷市	市	市	E E	伏町	市	橋市
ト対策の主な取組 - 1逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的 1 1情報伝達、避難計画等に関	内確な避難	<b>打動のため</b>	の取組													•
	C・D・ E・L・M		・タイムラインの 試作版を検証・見 直しをして、運用 版を作成する。     【H29】     ・作成後、タイム ラインを活用した 訓練に向けて検討 していく。     【H20】     「H30】     「H30】	・江戸川のタイム ラインを作成予 定。ただし、遊難 動告に至るもので はない。 【H28】	<ul> <li>タイムラインの試作版を検証・見直しをして、運用版を作成する。【FU28年度】</li> <li>今後、タイムラインの運用版の検証を行っていく。【H29へ】</li> </ul>	作成済みであり、 今後、検証してい	・中川、綾瀬川のタイム ラインは作成済みである。 。・今後、タイムラインを 活用した訓練に向けて検 討を行う。【H3O】	・今後荒川・江戸 川に係るタイムラ インも作成する。 ・作成後、タイム ラインを活用した 訓練について検討 していく。【H28 ~】	・中川、綾瀬川の タイムラインは作 成済みである。江 戸川のタイムライ ンを作成予定。 ・作成後、タイム ラインを市民に周 知していく【H29 ~】	<ul> <li>タイムラインは作成済みである。</li> <li>今後、タイムラインを活用した訓練に向けて検討を行う。</li> <li>【H29~】</li> </ul>	・タイムラインは作成済み である。【H28】 ・毎年、内容の検証・改善 を行っていく。【H29~】	る。【H28】 ・今後、内容の検証・改善を 行っていく。【H29~】	・タイムラインは 作成済みである。 ・今後、タイムラ インを活用した訓 練に向けて検討を 行う。【H29】	作成済みである。 ・ 今後、タイムラ インを活用した訓	・タイムラインは作成済 みである [H28] ・タイムラインの検証・ 見直しを行っていく。 ・今後、タイムラインに 基づいた訓練について検 討していく。 [H29~]	・今年度中に作成予定 ・作成後、タイムラインを活 した訓練実施の検討をしてい (。【H28~】
3.避難勧告等発令の対象区域、判		H28	-	江戸川のタイムラ インを作成した。	タイムラインの運用版作成に併せて、避難準備情報等の名称の 変更を行い、内容を精査する。 【平成29年1月~】	-	江戸川のタイムラインを 作成した。	荒川・江戸川のタ イムラインを作 成。	江戸川のタイムラ インを作成した。	_	江戸川のタイムラインを作 成。	・タイムライン作成。 ・次年度にタイムラインの検証 できるよう水書を対象とした総 合的な訓練を実施出来るよう関 係機関と協議を行った。	-	今年度実施予定なし	・タイムラインの検証・ 見直しを行っていく	タイムライン作成済。 訓練検 中。
断基準等の確認(水害対応タイム ライン)	取組状況	H29	=	-	・タイムラインの検証と、避難 勧告等の判断伝達に関するマ ニュアルを改定を行った。	-	-	タイムラインを活 用した訓練につい て、利根川水系連 合・総合水筋演習 を視察。	タイムラインの市 民への周知を検討 していく。	・タイムラインを活用した訓練に向けて 検討を行う。【H29 ~	タイムラインの内容の検 証、改善を検討した。	・水害を対象とした総合的な訓練を実施し、タイムラインの検証を行った。	避難訓練方法の検 討	避難勧告等の判 断・伝達マニュア ル作成済み	・タイムラインの検証・ 見直しを行っていく	-
	and whi	H30	<ul><li>タイムラインを 活用した訓練の検 討を行う予定</li></ul>	-	・引き続き、タイムラインを活用した訓練に向けて検討を行う。	・引き続きタイム ラインについて、 検証していく。	・タイムラインについ て、検証し、庁内で情報 共有を図る。	避難動告等発令の 対象区域や判断基 準等について、タ イムラインの検 証、改善を検討す る。	タイムラインの市 民への周知を検討 していく。	避難勧告等発令の対象区域、発令の判断 基準について、内容 を精査。改善してい く。	水害対応タイムラインについて検討する。	引き続き、タイムラインの検 証・改善を行う。	・タイムラインを 活用した訓練に向 けて検討を行う。	作成済み	・タイムラインの検証・ 見直しを行っていく	-
		H31														
		H32														
			松戸市	野田市	柏市	流山市	浦安市	足立区	葛飾区	江戸川区	茨 城 県	埼玉県	千葉県	東京都	気 象 庁	関東地整
	C·D· E·L·M	H28年度 から 順次実施	・タイムライン (骨子) は作成済 みである。 [H28] ・今後検証、月直 しを行いながら割 練についても検討 していく。 [H28~]	・タイムラインは 作成済みである。 ・今後、東用化に むけて検討してい く。【H28~】	<ul> <li>タイムラインは作成済みである。</li> <li>今後、タイムラインの検証を検討していく。【H30~】</li> </ul>	作成済みである。	- 地域的設計画に基づ き、タイムラインについ て作成を検討する。 【H29~】	・台風接近時に、 昨年度策定した元 川等のタイラ リ試行版の行動項 目について、 は過不足いで の検証を行ってい る。	・荒川下流タイム ラインの場節区板 について整理した 後、江戸川につい てのタイムライン についても検討す る。【H29】	・北区、板橋区、足立区をモデル区で板橋区エリア ・北区、大田、田、田、田、田、田、田、田、田、田、田、田、田、田、田、田、田、田、田	事業 [H28年度]	・避難計の発令等に響目した 大規模風水等(台風上陸)に関 するタイムラインを作成し、市 町村に周知している。	・市町村の取組を 支援していく	・区の取組を支援していく。	・気楽情報に対する筋炎 行動との制整理につい て、源域区市町のタイム ライン作成に適宜協力する。     ・水が管理者が実施する 訓練に必要に応じて協力 する。	<ul> <li>作成に必要な水位無料等の 供と、自治体訓練への参加</li> </ul>
		H28	タイムラインの詳細については、江戸川河川事務所を 含め周辺自治体と も合わせる必要が あるため随時検討 を行っていく	実用化にむけて検 討していく	H30年以降タイムラインの検証を検討する。	タイムラインを作成。	江戸川河川事務所と協議 のうえ、タイムラインを 作成した。	足立区・消防署合 同の総合水防訓練 にて訓練を実施した	荒川下流タイムラ インについて検討 中	ス 「U200」 荒川下流タイムライ ン (拡大試行版)を 作成中。	図上型訓練(ロールブレイ ング形式による災害対策本 部の設置・運営訓練)の構 築に向け、事業実施中	タイムラインを市町村に周知		・区の取組を支援。	荒川下流タイムライン検 討会に参加し、関係各区 の支援を実施した。江戸 川流域区市町からの問合 対域接協力に対応でき るよう準備した。	・作成に必要な水位情報等の 供や助言を行った。
	取組状況		タイムラインの詳細については、 戸川の川事時の神のでは、 戸川の川事時の中では、 をものでは、 の場合では、 があればで、 があればで、 があればで、 があればで、 があればで、 があればで、 があればで、 があればで、 があればで、 があればで、 がいく	実用化にむけて検 討していく	次年度以降タイムラインの検証 を検討する。	避難訓練実施の検討。	実施済み	台風21号等で荒川下窓夕ボライン(拡大計能) 大部分 (本)	江戸川タイムライ ンについて検討す る	荒川下流タイムライン(拡大試行版)を 作成、運用開始。	市町村が実施する図上型制 線(ロールプレイング形式 による災害対策本部の設 置・運営訓練)の実施支援	タイムラインを市町村に周知	・市町村の取組を 支援	・区の取組を支援。	流域区市町からの問い合 わせに対応すると共に、 訓練等の要請に応じて対 応 <b>した</b> 。	<ul> <li>・引き続き、作成に必要な様の提供や策定の支援体制を確する。</li> </ul>
	RX4E4XJU		タイムラインの詳 細については、江 戸川河川事務所を 含め周辺自治体と	実用化に向けて検 討していく	タイムラインの検証を検討中。	タイムラインに基 づく検証を検討す る。	実施済み	荒川等のタイムラ イン試行版の行動 項目等について、 検証を行う。	江戸川タイムライ ンについて検討す る	流タイムライン(拡	市町村が実施する図上型訓練(ロールブレイング形式 による災害対策本部の設 置・運営訓練)の実施支援	タイムラインを市町村に周知予 定	・市町村の取組を支援していく	・引き続き区の取 組を支援してい く。	流域区市町からの問い合 わせに対応すると共に、 訓練等の要請に応じて対 応する。	・引き続き、作成に必要な情 の提供や策定の支援体制を値 する。
		H30	も合わせる必要が あるため、打ち合 わせの場があれば 随時検討を行って いく													
	-	H30	も合わせる必要が あるため、打ち合 わせの場があれば 随時検討を行って						江戸川タイムライ ンについて検討す る							

具体的な取組の柱										実施する機関						
事項	課題	目標時期	五霞	さ 市た	春日部	草 加	越谷	久喜	八潮	垂郷	幸 手	吉川	杉戸	松伏	市川	船橋
具体的取組			⊞Ţ	った ま	部市	市	市	市	市	市	市	市	ET .	町	市	市
(2)ソフト対策の主な取組 (2)-1逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ (2)-1-1情報伝達、避難計画等に	の的確な避難	推行動のため	の取組													
(2)————————————————————————————————————		H29年度														
	А	(5月頃)														
④想定最大規模の洪水を対象とした洪水浸水想定区域図、氾濫シ		H28														
ミュレーションの公表	取組状況	H29														
		H30														
		H31														
		H32														
-	- 1	·								ì.T			1	-		関
			松戸市	野田市	柏市	流 山 市	浦 安 市	足 立 区	<b>葛</b> 飾 区	江 戸 川 区	茨 城 県	埼 玉 県	千 葉 県	東京都	気 象 庁	東 地 整
	А	H29年度 (5月頃)														• H29年度出水期前に公表
		H28														・H28年度に検討及び資料の作成を実施。
	取組状況	H29														H29年度内に公表済み。
		H30														-
		H31														-
		H32														-

めな取組の柱										実施する機関						
事 項	課題	目標時期	五霞	さ 市た	春日	草加	越谷	久喜	八潮	三郷	幸手	吉川	杉戸	松伏	市川	船橋
具体的取組			町	<sup>叩</sup> た ま	部市	市	市	市	市	市	市	市	町	町	市	市
7ト対策の主な取組 - 1遂げ遅れゼロに向けた迅速かつ   −1−1情報伝達、避難計画等に限	的確な避難	惟行動のため	の取組													
了	A		・想定展大規模の 洪水を対象とした 洪水ハザードマッ ブの策定の取組に 向けて検討する。 【H29~】	・漫水想定の変更 に伴い、洪水ハ ザードマップを策 定する予定。【H 32】	<ul> <li>額定職大規模の洪水を対象と した洪水・パゲードマップの策定 の取組に向けて検討する。 【H29~】</li> </ul>	・想定展大規模の 洪水を対象とした 洪水バザードマップの策定の取組に 向けて検討する。 【H28~】	・ 想定職大規模の洪水を 対象とした洪水ハザード マップの策定の取組に向 けて検討する。【H3O】	・想定最大規模の 洪水を対象とした 洪水ハザードマッ ブの策定の取組に 向けて検討する。 【H29~】	・想定展大規模の 洪水を対象とした 洪水ハザードマッ ブの策定の取組に 向けて検討する。 【H29~31】	・樹定最大規模の洪水を対象とした洪水 ハザードマップの策 定の取組に向けて検 討する。【H29~】	・想定最大規模の洪水を対象とした洪水ハザードマップの策定の取組に向けて検討する。【H32】	・想定最大規模の洪水を対象と した洪水ハザードマップの策定 の取組に向けて検討する。 【H29】	・想定展大規模の 洪水を対象とした 洪水ハザードマッ ブの策定の取組に 向けて検討する。 【H32】	・想定局大規模の 洪水を対象とした 洪水ハザードマッ ブの策定の取組に 向けて検討する。 [H32]	・国より、浸水物定区域 図が示されたら、想定限 大規模の洪水を対象とし た洪水ハザードマップの 策定の取組に向けて検討 する。	・現在の想定規模における洪水 ハザードマップを策定している が、国において想定最大規模 対水の物害想定が発表された 後、洪水ハザードマップの見直 しを検討する。
5想定最大規模の洪水を対象とし た水害ハザードマップの策定 水害ハザードマップの改良、周		H28	_	浸水想定の変更が 示された場合に は、更新を検討。	ハザードマップの策定に向け て、検討を行っている。	-	-	-	想定最大規模の洪 水を対象とした洪 水ハザードマップ の策定に向けて検 討を行った。	-	-	-	_	今年度実施予定なし	-	-
知、活用	取組状況	H29	ハザードマップの 更新に向けて、検 討を行う。		ハザードマップの策定に向け、 検討を行っている。	-	-	・想定最大規模の 洪水を対象とした 洪水ハザードマッ ブの策定の取組に 向けて検討実施。	想定展大規模の洪 水を対象とした洪 水ハザードマップ の策定に向けて検 討を行う。	河川事務所からデータ提供を受けた後、ハ ず'-ト'マッフ'を策定する	-	洪水浸水想定を基に想定農大規 樓の洪水を対象とした洪水ハ ザードマップの策定に向けて検 討中。	収集及び表記等の 検討	L	<ul><li>洪水ハザードマップの 更新を検討中</li></ul>	国において想定展大規模の洪水 の被害想定が発表され、データ の提供を受けた。
		H30	・ハザードマップ の更新を予定	出前講座やイベン ト等で配布予定	ハザードマップの策定に向け て、検討を行う。	・引き続き想定展 大規模のハザード マップの策定につ いて検討してい く。	想定最大規模の洪水を対象とした洪水ハザード マップの策定の取組に向 けて検討する。	想定展大規模の洪 水を対象とした洪 水ハザードマップ に改訂予定	想定展大規模の洪 水を対象とした洪 水ハザードマップ の策定に向けて検 討を行う。	想定最大規模の水害 を対象とした水害ハ ザードマップの策定 に取り組む。	想定展大規模の洪水を対象 とした水書ハザードマップ の策定について検討する。	引き続き、洪水浸水想定を基に 想定最大規模の洪水を対象とし た洪水ハザードマップの策定に 向けて検討する。	・引き続き想定展 大規模の洪水を対象とした洪水ハ ザードマップの策 定の取組に向けて 検討する。	今年度実施予定なし	・江戸川浸水想定区域図 を更新し、公表予定	想定展大規模の洪水の被害想定 を含めた地区別防災カルテを作 成し、市民へ周知する。
		H31														
		H32														
			松戸市	野田市	柏市	流山市	浦安市	足 立 区	葛飾区	江 戸 川 区	茨 城 県	埼 玉 県	千葉県	東京都	気 象 庁	関 東 地 整
	А	H29年度 から 順次実施	・想定最大規模の 洪水を対象とした 洪水・バードマッ ブの策定の取組に 向けて検討する。 【H29~】	・想定展大規模の 洪水を対象とした 洪水ハザードマッ ブの策定の取組に 向けて検討する。 【H29~】	- 国から示される洪水浸水想定を基に、内水、洪水(サードマップの販定に向け検討する。 [H30~]	・想定展大規模の 洪水を対象とした 洪水ハザードマッ ブの策定の取組に 向けて検討する。 【H29~】	<ul> <li>・ 想定農大規模の洪水を 対象とした洪水ハザード マップの策定の取組に向 けて検討する。【H29 ~】</li> </ul>	<ul> <li>・想定最大規模の 洪水を対象とした 洪水ハゲードマッ ブの策定の取組に 向けて検討する。 【H29~31】</li> </ul>	・想定最大規模の 洪水を対象とした 洪水ハザードマッ ブの策定の取組に 向けて検討する。 【H29】	・各浸水想定区域の 見直し後、各河川、 事象ごとに分けたハ ザードマップの作成 を検討する。						
		H28	江戸川の氾濫シ ミュレーションが 完成してから本市 ハザードマップの 改定について検討 を行う予定	H29以降検討していく	国から洪水浸水想定が示された後、検討する	想定展大規模の洪 水を対象としたハ ザードマップ策定 に向けて検討す る。	・平成29年度から超定展 大規模の洪水を列象とし た洪水ハザードマップの 策定の取組に向けて検討 する。	平成29年度策定 に向け予算要望済 み	-	ハザードマップの作成を準備中。						
			江戸川の氾濫シ ミュレーションが 完成してから本市 ハザードマップの 改定について検討 を行う予定	新浸水想定区域発 表後、検討を進め て行く	国から洪水浸水想定が示された 後、検討する	浸水想定区域の公 表後、策定に向け て検討する。	・平成29年度中に想定最 大規模の洪水を対象とし た洪水ハザードマップの 素業を作成する。	想定展大規模の洪 水を対象とした洪 水ハザードマップ の作成に着手。	想定最大規模の洪水を対象とした洪水ハザードマップ の内容について検討する	ハザードマップの見 直しについて方針を 検討。						
	取組状況	H30	県管理河川の浸水 想定区域が公表さ れてから、改定に ついて検討を行う 予定	本年度作成予定	想定展大規模の洪水を対象としたWEB版ハザードマップの作成に着手している。	・想定展大規模の 洪水を対象とした 洪水ハザードマッ ブの策定の取組に 向けて検討する。	・平成30年度中に想定最 大規模の洪水を対象とし た洪水ハザードマップを 配布する。	想定展大規模の洪 水を対象とした洪 水ハザードマップ を作成	水を対象とした洪 水ハザードマップ の作成ついて検討 する	水害ハザードマップ 検討委員会を立ち上 げ具体的な見直し作 業に着手予定。						
		H31							想定展大規模の洪水を対象とした洪水ハザードマップ の作成ついて検討する							
		H32							想定展大規模の洪 水を対象とした洪 水ハザードマップ の作成ついて検討 する							

本的な取組の柱										実施する機関						
事 項	課題	目標時期	五	さ 市 た	春日	草加	越谷	久喜	八連	三郷	幸手	吉川	杉戸	松伏	市川	船橋
具体的取組			霞町	<sup>叩</sup> た ま	部市	市	市	市	市	市	市	市	#I	町	市	市
ソフト対策の主な取組 ) -1逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ 2) -1-1情報伝達、避難計画等にB	的確な避難	推行動のため	の取組									•				
Z)————————————————————————————————————	E·F	H29年度 から	・導入の必要性を 検証し、必要に応 じて近瞬市区町と 連携した広域避難 計画について検討 する。【H30~】	・必要に応じて検 討していく【H29 ~】	・導入の必要性を検証し、必要 に応じて近備市区町と連携した 広境避難計画について検討す る。【H29~】	<ul> <li>広域避難計画の 策定について検討 していく。【H29 ~】</li> </ul>	・導入の必要性を検証 し、必要に応じて近隣市 区町と連携した広域避難 計画について検討する。 【H3O】	・新たな浸水想定 区域図に基づき、 広域避難も含めた 避難計画について 検討する。【H29 ~】	<ul><li>広域遊難につい て検討する。 【H29~】</li></ul>	・広域避難計画の検証をし、必要に応じて近隣自治体と連携を図る【H29~】	・市民全員を広域避難させることが現実的に可能かどうか検証する。【H32】	・導入の必要性を検証し、必要 に応じて近隣市区団と連携した 広域避難計画について検討す る。【H29~】	・近隣市町と連携 した広域避難計画 について検討す る。【H29】	・導入の必要性を 検証し、必要に応 じて近隣市区町と 連携した広域避難 計画について検討 する。【H29~】	<ul><li>挿入の必要性を検討 【H29~】</li></ul>	・導入の必要性を検証し、必 に応じて近隣市区町と連携し 広域避難計画について検討する。【H29~】
		H28	-	-	導入の必要性について検討を 行っている。	-	-	-	引き続き広域避難 について検討して いく。	-	-	-	=	今年度実施予定なし	-	-
6氾濫形態に応じた隣接市区町に おける避難場所の設定(広ば避難 体制の構築)等		H29	-	-	導入の必要性について検討。	-	-	広域避難計画検討 に係る基礎資料を 提出。	引き続き広域遊難 について検討して いく。	・広域避難計画の検証をし、必要に応じて近隣自治体と連携を図る【H29~】	-	・導入の必要性を検証し、必要 に応じて近隣市区町と連携した 広域避難計画について検討し た。	広域避難計画の検 討	今年度実施予定なし	・導入の必要性について 検討を行っていく	千葉県主催の会議にて広域遊 想定の情報提供を受けた。
	取組状況	H30	<ul><li>・引き続き検討する</li></ul>	-	広域避難の計画について、協議 会において検討・協議してい く。	・引き続き広域避難体制の構築について検討していく。	・導入の必要性を検証 し、必要に応じて近隣市 区町と連携した広近避難 計画について検討する。	引き続き広域避難について検討していく。	引き続き広域遊難 について検討して いく。	面の検証をし、必要	隣接市町における避難場所 の設定や連絡体制について 検討する。	引き続き、導入の必要性を検証 し、必要に応じて近隣市区町と 連携した広域避難計画について 検討する。	・引き続き近隣市 町と連携した広域 避難計画について 検討する。	今年度実施予定なし		随時、広域避難想定の情報技 を受け、検討を行う。
		H31														
		H32														
			松戸市	野 田 市	柏市	流山市	浦安市	足立区	夢飾区	江戸川区	茨 城 県	埼 玉 県	千葉県	東京都	気象庁	関東地整
	E∙F	H29年度	・江戸川氾濫時に 連載話、は域を がでは、現まりでは、 では、現まりでは、 では、現まりでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	8. [H28]	<ul><li>導入の必要性を検討する。 [H29]</li></ul>	合水的団として検 討していく。 【H32~】	予定なし	江東5区広域避難推進協議会におい で検討予定【H28 〜】	・新たな浸水想定 区域図に基づき、 広域避難も含めた 避難計画を策定予 定【H29】	・江東5区広境資糧 推進協議会において 検討予定。【H28 ~】	<ul><li>自治体の広境避難計画の 策定を支援する。</li></ul>	<ul><li>自治体の広域避難計画の策定 を支援する。</li></ul>	・自治体の広域避難計画の策定を支援する。	域避難検討ワーキングループ」等の機論を踏まえて 検討する。	<b>び東定を支援する。</b>	<ul> <li>作成に必要な情報の提供よび策定を支援</li> </ul>
			江戸川の氾濫シ ミュレーションが 完成してから本市 避難計画等につい て検討を行う予定	・必要性について検討中。	来年度以降、導入の必要性を検討する。	地域防災計画の修正	-	江東5区広域遊難 推進協議会を立ち 上げ検討中。	江東5区広域避難 推進協議会におい て、広域避難等に ついて検討中	江東5区広域避難推 進協議会を立ち上げ 検討中。	広域避難計画策定を支援するためのワーキンググループを設置。	-	・中央防災高額の 「洪水・高潮氾濫 からの大規模・広 域避難検討以係」 への参加による情 報収集。 ・自治体から情報 収集を実施	検討を行ってい る。	江東5区広域避難推進協 議会において、関係各区 の広域避難実施体制の検 討を行った。	<ul> <li>検討に必要となる予算要求 実施。</li> </ul>
	取組状況		江戸川の氾濫シ ミュレーションが 完成してから本市 遊難計画等につい て検討を行う予定	・必要性について検討中。	導入の必要性を検討する。	東端中部地区連合水的団で検討。	<ul> <li>・江東5区広域遊費の書え 万を据まえ、土壌県 ・近 順市と検討を行う。</li> </ul>	江東5区広域遊覧 推進協議会で検討 中。	江東5区広域避難 推進協議会におい て、広域避難等に ついて検討する	江東5区広域避難推 進協議会において検 討中。	広域避難計画策定を支援するだめのワーキンググルー ブにおいて「広境避難計画 策定ガイドライン」を策 定。	市町村の取組状況を整理	・ 中央水・高線の ・ 中央水・高線を ・ 方の ・ 方の ・ 方の ・ 方の ・ 方の ・ 方の ・ 方の ・ 方の	引き続き検討を 行っていく。	江東5区広域避難推進協 議会に参加し、関係各区 の広域避難実施体制の検 討を行った。	<ul> <li>広域避難の検討に向けた型 調査(避難場所等)を実施。</li> </ul>
		H30	必要性について検 討を行う予定	必要性について検 討する	導入の必要性を検討する。	広域避難を含め検 討する。	・江東5区広域避難推進 協議会の広域避難の考え 方を踏まえ、千葉県・近 順市と検討を行う。	推進協議会で検討	江東5区広域避難 推進協議会におい て、広域避難等に ついて検討する	江東5区広域避難推 進線議会において引 続き検討予定。	自治体の広域避難計画の策 定を支援する。	広域避難に関する市町村との意 見交換等を予定	引き続き国等の情報収集を行う。 ・自治体への情報 提供及び課題等の 共有を図る。	引き続き検討を 行っていく。	引き続き、江東5区広域 避難推進協議会に参加 し、関係各区の広域避難 実施体制の検討を行う。	<ul> <li>広域避難の検討に向けた基調査(移動手段等)を実施。</li> </ul>
		H31							江東5区広域避難 推進協議会におい て、広域避難等に ついて検討する							
		H32							江東5区広域避難 推進協議会におい て、広域避難等に ついて検討する							

な取組の柱										実施する機関						
項	課題	目標時期	五	さ 市た	春日	草	越	<u> </u>	八連	=	幸	吉	杉言	松	市	船
体的取組			置町	巾 ま	部市	市市	谷市	喜市	市	郷市	市	市	#I	伏町	市	橋市
対策の主な取組 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ -1-1情報伝達、避難計画等に限	的確な避難	性行動のため	の取組													
INTERNAL ALPENING YEAR	E·G·	H28年度	・福祉担当課と調整し、要配慮者利用施設における訓練の実施支援を検討する。 【H31~】	・福祉部局と調整 していく。【H 29】	・要配慮者支援担当課と調整していく【H29~】	・関係課と調整 し、要配慮者利用 施設を対象とした 避難訓練等を検討 していく。【H3O ~】	・関係課と調整し、要配 慮者利用施設を対象とし た避難訓練等の支援を検 討していく。【H3O】	・福祉担当課と調整し、要配慮者利 用施設における避難計画や、避難訓練の実施を検討し ていく。【29~】	・要配慮者施設関係課と調整し、要配慮者利用施設に おける避難計画 や、避難訓練の実 施支援を検討して いく。【H29~】	・要配慮者利用施設 への対応等を考慮し た避難計画の導入の 必要性を検証し、必 要に応じ避難計画を 検討する。【H29 ~】	・福祉担当課と調整し、要 配慮者利用施設における避 難訓練の支援を検討してい く。【H32】	・福祉担当課と調整し、要配慮 者利用施設における創練の実施 支援を検討していく。【H28 ~】	・福祉担当課と調整し要配慮者利用 施設に対ける訓練 の実施支援を検討 する。【H29】	・福祉担当課と調整し、訓練の実施 支援を検討してい く。【H29~】	・地域防災計画に位置づけしている要配慮者施設 や地下施設について、遊 難計画策定の支援を行った。	・H25年度に対象施設に て避難計画策定に関する紡 実施した。 ・その後、随時必要に応じ 画作成の支援を実施してい
		H28	-	浸水想定域に入る 要配慮者施設の抽 出を行った。	要配慮者利用施設管理者向けの 説明会が平成29年2月に開催 予定のため、福祉部等と連携 し、施設管理者による計画案作 成の支援について調整してい く。	-	-	-	要配慮者施設関係 課と調整し、要配 慮者の避難体制に ついて検討を行っ た。	-	県・国により要配慮者利用 施設の管理者向け説明会を 実施予定。	・要配者利用施設での訓練を行 うために施設管理者と協議を実 施した。 ・防災知識の習得のため、市主 権の防災リーダー認定講習会に 参加していただいた。	-	今年度実施予定なし	・避難確保計画作成に向けた周知(依頼)を行い、随時支援を実施している	・避難計画策定に向けた周知 い、励時支援を実施している ・要配慮者利用施設に対して 県主導で計画作成について 設施予定。
⑦要配慮者利用施設における避難 計画の作成 地下施設、大規模工場への対応 等を考慮した避難計画の検討、施 設管理者による計画案の作成の支援	取組状況	H29	-	関係課等と連携 し、要配慮者利用 施設管理者による 避難計画の作成の 支援を検討する。	浸水想定区域の改訂に伴い。福 社部等の関係部局や関係機関と 連携し、要配慮者利用施設の際 (②抽出を実施した。	=	・要配慮者利用施設の施 設管理者に対し、必要に 応じて避難計画案作成の 支援を行った。	水防法改正に伴う 要配慮者利用施設 の避難確保計画作 成義務化及び避難 訓練の実施につい で、関係保証の 関知し対応を依頼	要配慮者施設関係 課と調整し、要配 慮者の避難体制に ついて検討を行 う。	・要配慮者利用施設 への対応等を考慮し た避難計画の導入の 必要性を検証し、必 要に応じ避難計画を 検討する。【H29 ~1	-	・要配者利用施設での訓練を行 うために施設管理者と協議を実 施した。 ・災害対策に関する知識の習得 のため、市主催の減災リーダー 認定講習会に参加していただい た	施。	を開催した。	へ作成を依頼(H30.1)	
	RNEW N	H30	-	関係課等と連携 し、要配慮者利用 施設管理者による 避難計画の作成の 支援を検討予定。	関係部局と連携し、要配慮者利 用施設管理者による避難計画の 作成に向けた指示、支援をして いく。	・引き続き関係課 と調整し、要配慮 者利用施設を対象 とした避難計画等 を検討していく。	・引き続き、必要に応じ て施設管理者への避難計 画案作成の支援を行う。	周知し対応を依頼 引き続き、要配慮 者利用施設に計画作 成や、避難訓練の 実施を推進してい く。	要配慮者施設関係 課と調整し、要配 慮者の避難体制に ついて検討を行 う。	福祉部局と連携し、 各施設における避難 計画策定を推進、支 援していく。	要配慮者利用施設における 避難確保計画の作成につい て支援する。	・要配者利用施設での訓練を行うために施設管理者と協議を行うために施設管理者と協議を行う。 ・要配慮者利用施設に対し、災害対策に関する知識の習得のため、市主催の減災リーダー器定議部会に参加を要請する。	引き続き支援を実施していく。	要配慮者利用施設 における避難確保 計画の作成につい て支援する。	・継続的に支援を実施していく	引き続き支援を実施して
		H31														
		H32														
			松戸市	野田市	柏市	流山市	浦安市	足立区	葛飾区	江 戸 川 区	茨 城 県	埼玉県	千葉県	東京都	気象庁	関東地整
	E.G.	H28年度 から 順次実施	・関係即局及び関係機関と調整していく。【H29】	・各種総額年にした ・ 本書を測量を使用した。 ・ 本書を測量を使用した。 ・ 本書を測量を使用した。 ・ 本書を開始を使用した。 ・ 本書を開始を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を		・関係保護と開催 し、要配慮者利用 筋短における別様 の実施支援を対していく。 【H28 ~】		要配慮も施設につ いては、方が画像が によ規に向する によ規に向する が のいては、方面の のが のいては、 のいては、 のいては、 のいては、 のいては、 のいては、 のいては、 のいては、 のいては、 のいては、 のいては、 のいでは、	・H26年度に対象 総設に対して対象 計画策定に関する 財務策定に関する た。・また、連続計画 策定のための手引 きを作成し、HPに 掲載している。	・地下版紀には浸水 に対する注意域 の情報避時を実施し ている。						
		H28	実施に向けて関係 機関等と検討をお こなう 事施に向けて関係	・遊難計画作成の 必要性や支援の内 容について検討 中。 ・遊離計画作成の		実施に向けて検討 する。 引続き検討する。	<ul> <li>平成29年度から福祉担当課と調整し、要配慮者利用施設における、連絡体制、避難計画等について検討する。</li> <li>・平成29年度から福祉担</li> </ul>	実施に向け検討中・要配慮者利用施	対象施設に対して 避難計画策定に関する説明会を実施 した	地下施設は連絡体制 を確認。要配慮者利 用施設及び大規模工 場は庁内関係部署と 調整中。 要配慮者利用施設の						
		H29	機関等と検討をおこなう	必要性や支援の内 容について検討 中。			当課と調整し、要配慮者 利用施設における、連絡 材用施設に対しる、連絡 体制、避難計画等につい て検討する。	設の確定と施設管理者への周知に向けて、方内検討会 を実施。 ・北千住駅地下水 書対策勉強者と水 表対策加について検 討。	避難計画策定に関する説明会を実施 予定	避難計画作成義務化 に向けた対応を検 討。						
	取組状況	H30	実施に向けて関係 機関等と検討をお こなう	避難計画作成の必要性や支援の内容 について検討する		避難権保計画の支援を行っていく。	- 継続検討予定	・要配慮者利用施 設管理者への避難 計画財定支援体制 について、施 ・北千年駅地下水 書対策勉強官と水 書対策処でしい 下施設管理ついて検 討。	対象施設に対して 避難計画策定に関 する作成について 支援する。	要配慮者利用施設向 けに避難計画のひな 形を作成予定。						
		H31							対象施設に対して 避難計画策定に関 する作成について 支援する。							
		H32							対象施設に対して 避難計画策定に関 する作成について 支援する。							

な取組の柱										実施する機関						
項	課題	目標時期	五霞	さ 市た	春日	草加	越谷	久 喜	八潮	無郷	幸手	吉川	杉戸	松伏	市川	船橋
具体的取組			Ħ	った ま	部市	市	#	市	芾	市	Ť.	市	, 🗉	Ħ	市	市
・対策の主な取組  遂げ遅れゼロに向けた迅速かつ -1-2平時から住民等への周知・	的確な避難	性行動のため	の取組													
1 2+nd 10,0 E C d. (O) tal YII.	A·B		• 生活安全課が窓 ロとなっている。	・総務局危機管理 部防災課が窓口と なっている。	・筋災対策課で対応している。	・市長室危機管理 課が窓口となって いる。	・治水課、危機管理課が 窓口となっている。	・消防防災課もし くは各総合支所市 民課の防災担当職 員が窓口となって いる。	・危機管理防災課 が対応する。	<ul> <li>環境安全部危機管理防災膝が窓口となっている。</li> </ul>	・市民生活部防災安全課が 窓口となっている。	・市民生活部危機管理課が窓口 となっている。	・杉戸町住民参加 推進誤消防・防災 担当が窓口となっ ている。	担当が窓口となっ	・問合せ窓口は、危機管理室危機管理課、地域的 災謀としている。	・防災担当部局にて対応して る。
水災害の事前準備に関する問合 窓口の設置		H28	=	_	水災害の事前準備に関する附合 せについて、防災対策課で対応 している。	_	実施済み	_	実施済み	-	実施済み	-	=	実施済み	-	_
	取組状況	H29	-	_	防災対策課が窓口となり、関係 部局と連携し実施中。	-	実施済み	_	実施済み	-	引き続き行っていく。	危機管理課が窓口となって対 応。	-	実施済み	-	-
		H30	ı	-	引き続き、防災対策課が窓口と なり、関係部局と連携し対応し ていく。	<ul><li>・引き続き市長室 危機管理課が窓口 となる。</li></ul>	引き続き実施	-	実施済み	-	引き続き行っていく。	引き続き、危機管理課が窓口と なって対応。	<ul><li>杉戸町くらし安全課消防・防災担当が窓口となっている。</li></ul>	実施済み	-	-
		H31														
		H32														
			松戸市	野 田 市	柏市	流 山 市	浦 安 市	足立区	葛飾区	江 戸 川 区	茨 城 県	埼玉県	千葉県	東京都	気象庁	関 東 地 整
	A·B	引き続き 実施	戸	市市		市・河川線、防災危	安市	立区	飾区	戸 川 区	- 開い合わせ窓口を設置す	玉	葉県	京都	象	東
	A·B	引き続き	市市・危機管理課が窓	田市 市 ・防災安全課、土 木部管理課が窓口 となっている。	・窓口は、総務部防災安全課と	山市 ・河川課、防災危 機管理課の窓口に て対応する。	安市・問合せ窓口は、総務部	立区 経難や平時の準備 等については危機 等については危機 課業等については初ま 課業等については初ま 課業等については初ま はなか窓口としている。	飾区 ・防災課で対応す	戸川区 ・問合せ窓口は、危機管理室的災危機管理室的災危機管理室的災危機管理	- 開い合わせ窓口を設置す	張 県 ・	葉県 ・今後、問合せ窓 ロの設置について	京都	象	東 地 整
	A·B 取組状況	引き続き 実施 H28	・危機管理深が窓口となっている。  避難体制等については危機管理深いでは危機管理深いでは危機管理深い、ハード面の対策でいいては別の構造である。	田市・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・	市・窓口は、総務前筋災安全課としている。	山市 ・河川課、防災危機管理課の窓口に て対応する。  窓口対応を引続き	安市 ・ 問合せ窓口は、総務部 が災弾としている。 ・ 問合せ窓口は、総務部 ・ 問合せ窓口は、総務部 が災弾としている。	立区 経難や平時の準備 等については危機 等については危機 課業等については初ま 課業等については初ま 課業等については初ま はなか窓口としている。	<ul><li>節</li><li>区</li><li>・ 助災罪で対応する</li></ul>	戸川区 ・関合住取は、危機管理整が窓口は、危機管理整が窓口となって対応。	「規模	張 県 ・	葉 県 ・今後、関合せ窓 ロの設置について 検討する。【H28 ~】	京都	象	東 地 整 ・
		引き続き 実施 H28 H29	戸市 ・危機管理様が多 ・危機管理様が多 ・危機管理様が多 のとなっている。  遊離体制等につい には、 のいては別情感 ・変異体制等につい には別情感 ・変異体制等につい には別情感 ・変異体制等につい ・変異体制等に対 ・変異体制等につい ・変異体制等につい ・変異体制等につい ・変異体制等に対 ・変異体制能性 ・変異体 ・変異体制能性	田市・   ・   ・   が以安全課   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   変更なし。	市 ・窓口は、総務制防災安全課と している。	・河川駅 防災危機管理解の窓口に て対応する。 窓口対応を引続き 実施する。 窓口対応を引続き 窓口対応を引続き	安市 ・問合せ窓口は、総務部  が災弾としている。 ・問合せ窓口は、総務部  が災弾としている。 ・問合せ窓口は、総務部  が災弾としている。	立区  超難や甲語の準備 等については危機 管理部の実施対象。 参考については危機 管理部の実施対象。 参考についてはかいてはかいてはかいではかいではかいではかいではかいではかいではかいではかいではからなった。	<ul><li>節</li><li>区</li><li>・ 助災罪で対応する</li></ul>	□ 区  ・ 関合と並口は、危機管理室が必した。  ・ 機管理室が必したがあ。  ・ 機管理室が必したなって対応。  ・ 機管理室が必したなって対応。	域 県 ・問い合わせ窓口を投置す る。【H28~】  ・設置した。(住民からの問い合わせに関して協時対応している。)  ・問い合わせがあった場合。  は時対応する。((問い合わせなし)	張 県 ・	業 県 ・今後、問合せ家 口の設置について 検討する。【H28 ~】 年度内に検討開始 予定 投資について検討	京都 多定なし	象	東 地 整 ・
		引き続き 実施 H28 H29	戸市     ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	田市・   ・   ・   が以安全課   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   変更なし。	市 ・窓口は、粉桝部的災安全はと している。 引き続き来源	・ 売川様 防災危機管理解の窓口に て対応する。 窓口対応を引続き 実施する。 窓口対応を引続き 窓口対応を引続き	安市 ・問合せ窓口は、総務部  が災弾としている。 ・問合せ窓口は、総務部  が災弾としている。 ・問合せ窓口は、総務部  が災弾としている。	立  正  正  正  正  正  正  正  正  正  正  正  正  正	節区 ・助災罪で対応する	戸川区 ・現合をは口は、危機管理室が応口と  危機管理室が応口と  危機管理室が応口と  危機管理室が応口と  危機管理室が応口と	域、県 ・時い合わせ窓口を設置す る。【H28~】  設置した。(住民からの問い合わせに関して協助対応している。)  関い合わせがあった場合。 (時い合わせがあった場合。	張 県 ・河川砂町撲節災担当が窓口と なっている。 窓口投票済み	業 ・今後、附合せ窓 ・今後、附合せ窓 ・り後 横封する。【H28 ~】 年度内に検討解始 予定 超面について検討 発面について検討 発面について検討	京都 多定なし	象	東 地地 整 ・ 側い合わせ窓口を接置しる。 ・ 災害情報部及支援室 (初 無謀多む) を投置済み

な取組の柱										実施する機関						
項	課題	目標時期	五霞	さ 市た	春日	草加	越谷	久 喜	八潮	= 郷	幸手	吉川	杉戸	松伏	市川	船橋
体的取組			町	ま	部市	市	市	市	市	市	ā	π̈́	Ħ	町	市	<del></del>
・対策の主な取組  遂げ遅れゼロに向けた迅速かつ -1-2平時から住民等への周知・	的確な避難 教育・訓練	i行動のため に関する取締	の取組													
	A·B·K	H28年度	*・今後、ホーム ベージ掲載など防 災知臓路発活動等 の強化について検 討する。【H29 ~】	・西区において、 避難場所運営委員 会を対象に防災研 究会を削催(荒上 講義他) ・市級知順の普及 発を行っていく。 [H28]	・自主的災訓練等で、市民向け 啓発用デ等の配布を平成27年 度から行っている。 ・今後、内容の充実を図ってい く。【H28~】	・地域住民を対象 に、防災構演会等 で水災害について 説明している。 ・今後市民向け啓 発冊子等配布につ いて検討してい く。【H28~】	・出張講座や防災側練時 に実施している。 ・今後も防災削練や出張 講座を通じて防災態臓の 普及啓発に努める。	・住民からの依頼 に応じて防災講座 やハザードマップ の放明会等を開催 している。	・水防災に関し、 ホームページ掲載 など防災知識密発 活動等の強化につ いて検討する。 【H29】	・住民からの依頼に 応じ防災講座やリザー ドマップの説明会を 行っている。 ・今後も実施してい く。	・ハザードマップに基き、 決水等の遊難等について消 的団か区長会で説明してい る。 ・今後は前災講話等で水災 害についても啓発してい く。【H28~】	・洪水時の避難方法等について、自治会や自主的災会に出前 護座を実施している。     ・今後は広報誌、ホームページ、フログなど的災知臓啓発活 動等を定期的に行う。 [H28~]	・今後も防災訓練 や講話を通じて防 災意識の普及啓発 に努める。 【H29】	・住民からの依頼 に応じて、出前講 座を実施してい る。	・洪水時の避難方法等に ついては、自治会等に別 明会を不定期に実施して いる。(自治会より依頼 があったら対応)	・各町会や自治会等の求めに応 し、機能等を実施している。 ・洪水バザードマップ及び防災 ハンドブックの作成、配布、 ホームページ掲載を実施してい る。
		H28	-	西区において、避 難場所運営委員会 を対象に防災研究 会を開催(荒上講 義他)	市民向け西発用子の内容を充 ・市民の自主では、平成と8年度の自主で 災別維教で推修的に配布を行っている。     ・昔日郎市自治会連合会と協働 し、毎日郎市均浩対応基本で ニュアルを28年度中に策定。	を作成中。作成後	出張講座や防災訓練において、水害対策の展示、 啓発を行った。	地域住民から要望 があり、ハザード マップ説明会を実施した。	出張講座を実施し た。 市広報に水防災に 関する防災対策を 掲載し啓発を行っ た。	-	・区長会でハザードマップ について説明 ・消防団研修でハザード マップについて説明 ・消防団に水防工法訓練を 実施 ・防災講話で水災害につい ても説明	・出前講座を自治会、自主訪災 会に対して21回実施した。 ・広報誌、ホームペーシ、プロ グや登録制メール等で定期的に 情報発信を行った。	-	実施済み	・継続的に実施していく	<b>実施済</b>
2水災害に関する説明会や避難訓練の開催	取組状況	H29	-	西区において、広広 域難計解とない。 対した。 対した。 が変し、 が変し、 が変し、 が変し、 が変し、 が変し、 が変し、 が変し、	・市民向け啓発冊子の内容を充 実させ、自主防災訓練等で配布 し、防災意識の高揚を図った。 ・着日郎市災害対応基本マニュ アルを各自主防災組織に配布 し、地域に応じた対策や訓練を 支援した。	・水災害につい て、地域住民及び 市職員に対し、脱 明会を実施した。	・防災制練や出張講座を 通じて防災意識の普及啓 発を行った。	住民からの依頼に 応じて防災講座や ハザードマップの 説明会等を実施し た。	出張講座や市広報 に水防災に関する 防災対策を掲載す るなど啓発を行 う。	引き続き、出前講座 等を行う	防災機秘等の中でハザード マップを使用した水災害に ついて啓発した。	・出前講座を自治会、自主防災会に対して14回実施した。 会に対して14回実施した。 ・広報誌、ホームページ、プログや登録制メール等で定期的に 情報発信を行った。	出前講座の実施。	実施済み	・継続的に実施していく	実施済
		H30	-	必要に応じて各区 への呼びかけも検 討する。	・引き続き市民向け啓発冊子の 内容の充実と積極的な意識啓発 を図る。 ・春日郎市災害対応基本マニュ アルを基に、自主防災組織毎の マニュアル策定にむけた支援を 行う。	会等を実施してい	・引き続き、防災訓練や 出張講座を通じて防災意 誠の普及啓発を行う。	住民からの依頼に 応じて防災講座や ハザードマップの 説明会等を開催す る。	出張騰座や市広報 に水防災に関する 防災対策を掲載す るなど啓発を行 う。	引き続き、出前講座 等を行う	防災講話等の中でハザード マップを使用した水災害に ついて啓発していく。	・出前講座を自治会、自主防災 会に対して実施できるよう働き かけを行う ・出水期にあわせて広報誌に 発配事の掲載をはじめ、ホーム ペーシ、プログや登録制メール 等で定期的に情報発信を行う。	引き続き出前講座 を実施する。	引き続き出前講座 を実施する。		引き続き実施していく
		H31														
		H32														
	1									X						
			松戸市	野 田 市	柏市	流山市	浦 安 市	足 立 区	<b>葛</b> 飾 区	江戸川区	茨 城 県	埼 玉 県	千葉県	東 京 都	気 象 庁	関 東 地 整
	A•B•K	H28年度 から 順次実施	・ 所名の では、   ・	・自主かがらかの場合 の回する場合では、 ・ 前の関する場合では、 ・ が大関する。 ・ が大関する。 ・ が大関する。 ・ ので ・ ので を を を を の と に の と に の と に の と に の と に の と に の と に の と に の と に の と に の と に の と に の と の と	- 水災に関定した物館会や開格 ではないが、各間会や自然会等 の求めに思し、防災衛告祭や側 課を実施している。【H28 ~】	・水筋災に関する 放明会の開催や問 合せ窓口の周知 等、防災知識化につ いが変別である。 【H29~】	・満安市防災訓練の中で 水災書を想定した上のう 作り訓練を製してい る。【H26年度~】 ・今後、水番を想定して の訓練のあり方等につい て、検討する。【H29 ~]	・講演会等を通し で江戸川等の水書 (昭和22年のカス リーン台風)の説 明を行っている。 ・水災害を実施して いる。	・広報誌への掲載 や出前講座を実施 している。	・水書時(外水氾 艦、内水氾艦)の避 難方法等について、 自治会や各団体向け	・自主防災組織の役員等に 向けた研修会を実施してい る。 ・必要に応じて出前講座を 実施【H28~】	・出前機座を実施している。	予定なし	・広報と連携した、啓発支援に取り組んでいく。 【継続】	・河川事務所及び流域自 治体の取組に協力する。	・自治体等の要摘により、出前 講座等を構整的に行っていく。
			江戸川の氾濫シ ミュレーションが 完成してから啓発 資料等について検 討を行う予定	・必要性について検討中。	求めに応じ、随時実施する	説明会等の要望が あれば実施する。 啓発活動の等の強 化については検討 していく。	・浦安市防災訓練の中で 水災害を撤産した土のう 作り訓練を実施してい る。【十26年度~】 ・平成29年度から今後、 水害を想定しての訓練の あり方等について、検討 する。	足立区・消防署合 同の総合水防訓練 にて水防工法やタ イムラインに基づ く住民避難訓練を 実施	広報誌への掲載や 出前講座を実施し た	住民税明会 的	・要請に対応する体制を整備した。(出前講座等の要請ない。)・自主防災組織の役員等に向けたリーダー研修会を実施(1/17)	-	予定なし	広報と連携した、 啓発支援に取り組 んでいる。	各流域の水防連絡会等の 機会を捉え、気象情報の 利活用による早めの防災 対応について周知を行っ た。また、改善される情 報の概要脱明を行った。	・出前講座等の体制を確保。
	取組状況		江戸川の氾濫シ ミュレーションが 完成してから啓発 資料等について検 討を行う予定	・必要性について検討中。	引き続き、求めに応じ、随時実 施する	市民参加型、東第 中部地区水防演習 の検討。	・経続実施 ・ 平成29年度から今 後、水害を想定しての訓練のあり方等について、 検討する。	引き続き実施予定	広報誌への掲載や 出前講座を実施する	住民税明会や防災訓 練を継続中。	引き続き、要請により出前 講座等を行う。 (要請ない) ・自主防災組織の役員等に 向けたリーダー研修会を実 施予定	出前講座を実施した。	予定なし	引き続き広報と連 携した、啓発支援 に取り組んでい く。	流域各都県主催会議や、 個別の取組みにより、気 象情報の利活用について 説明を実施した。	- 引き続き、出前講座等の体制 を確保する。
		H30	江戸川の氾濫シ ミュレーションが 完成してから啓発 資料等について検 討を行う予定	必要性について検 討する	引き続き、求めに応じ、随時実 施する	東 朝中部地区水防 演習 を実施。	經統予定。	引き続き実施予定	広報誌への掲載や 出前講座を実施する	住民說明会や防災訓 練を継続予定。	引き続き、要請により出前 講座等を行う。	要望に応じて出前講座を実施する。	予定なし	引き続き広報と連 携した、啓発支援 に取り組んでい く。	引き続き説明会等を通じ て、気象防災情報の利活 用に関する普及啓発を行 う。	・引き続き、出前講座等の体制 を確保する。
		H31							広報誌への掲載や 出前講座を実施す る							
											i e					i .
		H32							広報誌への掲載や 出前講座を実施す							

的な取組の柱										実施する機関						
<b>項</b>	課題	目標時期	五霞	さ 市た	春日	草加	越谷	久喜	八潮	=郷	幸手	吉川	杉戸	松伏	市川	船橋
具体的取組			町	<sup>叩</sup> た ま	部市	市	市	市	市	市	市	市	BT ET	町	市	市
ト対策の主な取組 ・1逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ -1-2平時から住民等への周知・	的確な避難	単行動のため	の取組													
2-1-2十時から住民等への周知	A•B•K	H28年度	・H28年度に完成 ・H28年度に完成 予定の五震町水的 センター(仮称) へ水書写真めるため の紹介などを掲示 する予定。【H29	いる公立学校の施 設管理者【校長又 は教頭)を対象と した指定緊急避難 場所、指定避難所 について説明会を	・遊難所となっている小・中学 校の校長・教師先生を対象とし て、避難所開設訓練を実施予 定。【H28~】	た、防災講演会等 で水災害について 説明	・学校からの要請に応じて、教職員や地域住民を 対象に避難所開設訓練等 を実施している。	・要望に応じて、出前講座を実施する。	・水災害教育の実施について、教育 委員会と協議して いく。[H28~]	・今後、実施を検討 していく【H29〜 H32で検討】	めた遊難所開設訓練を実施 する【H28~】	- 教職員を対象とした災害図上 訓練を実施検討【H28~】	・要望に応じて出 前講座を実施す る。	討を行う。 【H29 ~】	・要望に応じて検討	<ul><li>教員を対象とした講話にて、水災害・地震災害をとけている。</li></ul>
		H28	-	6月に、上配のとお り実施した。	・ 単項28年11月15日に ・ 収取係者等の避難所運営に関係 する機員10名を対象に、日本 ・ 本格の出去の制器や自主が収集 初の設立によるい場高やを 行った。 ・ 平成29年1月6日に春日 市内小・中学校に勤努する初任 百に対して、※客への購入をと について認識定案がでいただく を必定したいて認識を基めていただく を必定したいて認識を表めていただく を必要がある。 を表するの場合を実施 した。	-	学校からの要請に取じて、叙籍員を対象とした。 て、叙籍員を対象とした。 講座を実施した。 また、学校や地域の要請 に応じて、教員し加え、 生徒や地域住民も名めた 議座、遊園が開放訓練等 を実施した。	-	引き続き実施を検討していく。	教師員を対象とした 出前講座を実施した	ハザい学校で教員を含めた 避難所開設訓練を実施	穀職員を収象とした災害図上訓 練I/DIG を実施した	-	今年度実施予定なし	-	実施済
③教員を対象とした講習会の実施	取組状況	H29	-	安全教育主任研修 にて年に1度グ ループ研修を行っ ている。	・平成29年11月16日に学校関係者等の課題所選当に関係 する調員101名を対象に、 HLC3訓練を行った。 ・市内小・中学校に勤務する初 任首に対して、水舎への編えた だについて認識を高めていた くたのに、脳紋体験研修として 首都圏外刺放水路での研修を実 施した。	を教材とした、授 業実施について防 災担当の教員に対 し、説明会を実施	学校からの要請に応じ て、数額員を対象とした 講座を実施した。 また、学校や地域の要請 に応じて、教員に加え、 生徒や地域代氏含めた 講座、遊難所明設訓練等 を実施した。	-	引き続き実施を検討していく。	・今後、実施を検討 していく【H29~ H32で検討】	-	教職員を対象とした災害図上訓 練(DKG) を実施した	要望に応じて実施予算	E 実施に向けた検討 を行う	-	<b>実施済</b>
		H30	-	安全教育主任研修 にて年に1度グ ループ研修を予定 している。	引き続き、HUGや首都圏外割放水路での研修施き実施する。	・引き続き教員に 対し、説明会を実 施する。	引き続き、依頼に応じて 実施していく。	・要望に応じて、 出前講座を実施す る。	引き続き実施を検討していく。	引き続き実施を検討していく。	小学校の教員も含めた防災 訓練を実施する。	教職員を対象とした災害図上訓練(DIG)を実施予定。	要望に応じて実施予算	実施に向けた検討 を行う	-	引き続き実施していく
		H31														
		H32														
			松戸市	野田市	柏市	流山市	浦安市	足 立 区	葛飾区	江戸川区	茨 城 県	埼 玉 県	千葉県	東京都	気 象 庁	関東地整
	A·B·K	H28年度 から 順次実施	・市民啓発であるや パートサーはでは、 名学校単位の設定が 経済では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	・県主催の協議会 や研究会等で、防 災教育の一つとし て水防災について も受講	・教員に関しては、県主導のもと検討していく 【H28~】	・今後、教員向け の筋災説明会等を 検討していく 【H30~】	・今後、教育委員会等と 頻整し、教員向けの水書 対策教育の見直しについ て検討していく。【H29 ~】	・講演会等を選して江戸川等の水害 (昭和22年のカス リーン台風)の脱 明を行っている。	・要望に応じて、 出前講座を実施す る。	・区内小中学校の校 長、教員等を対象に した防災に係る勉強 会や、小学校の総合 学部の中で防災教育 を継続していく。	・必要に応じて出前講座を 実施 市町村の要請により出前 講座等を積極的に行ってい く。	予定なし	・防災投業実践研 修会に対策を 子地方気をを 水び炎管理 ときむ様々な公司 して招様を をきか様々な公司 処法の書学校の い、高学校のに が、 のメカニスを のメカニスを のメカニスを のメカニスを のメカニスを のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、	予定なし	・河川事務所及び流域自 治体の取組に協力する。	・自治体等の要請により、 講座等を積極的に行ってし
		H28	引き続き実施を行 う予定	・県主催の研修会 において、防災教 育の一つとして水 防災にもふれ、各 学校の安全主任が 受講した。	引き続き検討する	実施に向けて検討 する。	<ul> <li>平成29年度から今後、 教育委員会等と調整し、 教員向けの水害対策教育 の見直しについて検討する。</li> </ul>	一部の避難所運営 訓練にて、教員を 含めた講習会を実 施		小中学校の校長、教 員等を対象にした防 災に係る研修会を実 施。	・要請に対応する体制を整備した。(出前講座等の要請なし。) ・要請なし	要望に応じて、出前講座を実施する。	研修会を実施		東京都教育庁主催の「学校安全教室指導者講習內 安安全教室指導者講習內 学校安全担当馬「神郎主事」 「学校健士學主任他士 「学校健士學主任 「新聞」「一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個	・講習会に活用できるツ 計の為の予算要求を実施。
		1120		Scale U/C.											推進委員会」等に出席、 教員等を対象とした防災 講演等を実施。	
	取組状況		引き続き実施を行う予定		引き続き検討する	引続き検討してい く。	・単成20年度から今後、 教室委員会者と問題し、 教会員のおか、教会の会員を開始し、 別員はかか、 が、 の見歴しについて検討す る。	引き続き実施	-	小中学校の投長、事 発調員等を対象にし た防災に陳る研修会 を実施。	引き続き、要請により出前 関配等を行う。 (仕部講座 等の要請なし。) 必要に移じて出部講座実 施	予定なし	・防災授業実践研 総会に方気が大きな ・防気をときるメルスの ・大きな ・大きな ・大きな ・大きな ・大きな ・大きな ・大きな ・大きな	予定なし	教員等を対象とした防災	対を実施。
	取組状況		引き続き実施を行 う予定 引き続き実施を行 う予定	・県主催の協議会や研究会等で、防災教育の一つとしてお願知について	引き続き検討する 引き続き検討する	<.	教育委員会等とြ題し、 教員向けの水害対策教育 の見直しについて検討する。		-	務職員等を対象にし た防災に係る研修会 を実施。	講座等を行う。(出前講座 等の要請をし。) ・必要に応じて出前講座実施	予定なし 要望に応じて、出前講座を実施 する。	修会において会会において会会において会会において会会におりませた。 長き、水災のでは、 大変を持続が、 大変を持めた。 大変のでは、 大変のでなが、 大変のでな 大変のでなが、 大変のでな 、 大変のでな 、 大変のでな 、 大変のでな 、 大変のでなでを 、	予定なし	教員等各对象とした防災 講演等を実施。 東京都教育厅主催の「学 校安全教室指導者講習 会」、第三環「実践的安 全教育総合支援事業推進 委員会」「学权健康教育 推進研修会」、干頭員 「防災投棄東致統研修会」 等に出席、数長等を对象 とした防災講演等を実 施。	討を実施。 ・『防災教育学習指導計 (業)』を作成。
	取組状況	H29	引き続き実施を行	・ 病主催の協議会 ・ 病主催の協議会 が研究のうとして であり であり であり のは のは のは のは のは のは のは のは のは のは		<.	教育委員会等と調整し、 教員向けの米書が報教育 の見直しについて検討する。 要請により出前講座等を 行う。 ・必要に応じて出前講座		-	接顧員等を対象にした的效に係る研修会を実施。 小中学校の校長、教 高等を対象にした的	講座等を行う。(出前講座 等の要請をし。) ・必要に応じて出前講座実施		修会において会会において会会において会会において会会におりませた。 長き、水災のでは、 大変を持続が、 大変を持めた。 大変のでは、 大変のでなが、 大変のでな 大変のでなが、 大変のでな 、 大変のでな 、 大変のでな 、 大変のでな 、 大変のでなでを 、	予定なし	数損害を対象とした節災 機業等を対象とした節災 東京を主義を持ち、一般では、 東京を主義を持ち、 東京を主義を表現を対して、 大学のでは、 中心では、 大学のでは 大学のでを 大学のでを 大学のでを 大学のでを 大学のでを 大学のでを 大学のでを 大学のでを 大学の 大学の 大学の 大学の ため たり 大学の ため たり たっ たり たっ たっ たっ たっ たっ たっ たっ たっ たっ たっ たっ たっ たっ	<ul> <li>『防災教育学習指導計画</li> </ul>

な取組の柱										実施する機関						
<b>耳</b>	課題	目標時期	五霞	さ 市た	春 日 部	草 加	越谷	久 喜	八潮	<b>三</b> 郷	幸 手	吉川	杉戸	松伏	市川	船橋
体的取組			町	ま	市	市	市	市	市	市	市	市	町	町	市	市
対策の主な取組 逃げ遅れゼロに向けた迅速か 1-2平時から住民等への周短	つ的確な避難	行動のため	の取組													
−1−2十時から注氏等への周末	A•B•K		** + H2 8年度に完成 ・ H2 8年度に完成 予定の五暦町水防 センター(仮称) へ水書写真。 を満成る の紹介などを掲示 する予定。 【H29 ~】	業は行っていない が、理科の天候に 関する授業で、台 風による災害に対 する備えや情報活	・水害の恐ろしさや水害を訪ら 手立てとして首都圏外勢放水路 の役割等について第4学年で指 導している。	した、防災講演会	予定なし	・要望に応じて、 出前講座を実施す る。	・水災害教育の実施について、教育 委員会と協議していく。【H28~】	・今後、実施を検討 していく (H29~ H32で検討)	・小学校区単位で実施する 防災訓練の中で、教員を含 めた避難所開設訓練を実施 する【H28~】	・ 今後、実施の検討を行う。 [H29~]	・今後、小学生を 対象とした水防災 教育を検討してい く。【H29】	・今後、実施の検 討を行う。 [H29 ~]	・市内市立39校中、2 1校で実施。【H28】	・中学生を対象とした防災性において、水災害・地震災害とりあげている。 よりあげている。 また、今後小学生を対象と た教育を検討していく。【F
		H28	-	上記のとおり実施した。	各校の年間指導計画に則り実施 済	_	市立小学校1校の全生徒に 対し、災害に対する備え 等の講座を行った。	_	小学校の授業で、 川の性質、地域の 特徴(河川に囲ま れている、過去の 水害)について学 んでいる。	_	学校の授業の中で防災救育 を実施。	H29に市立小学校の5年生に水 防災(災害国上訓練を行えるよ う関係者と調整を行った。	-	今年度実施予定なし	・市内市立39校中、2 1 校で実施。【H28】	中学生に対して実施済
4的災教育の促進	取組状況	H29	-	-	各校の年間指導計画に則り実施 済	・ハザードマップ を教材とした、妨 災学習を実施。	小学生を対象とした各団 体等に対し、災害に対す る備え等の講座を行っ た。	・要望に応じて、 出前講座を実施す る。	引き続き実施。	市立小学校1校の生徒 に対し、水書に対す る備え等の講座を 行った。	引き続き、学校の授業の中で防災教育を実施。	市立小学校の5年生に災害図上 訓練(DIGI)を行った。	・要望に応じて、 出前講座を実施す る。	実施に向けた検討 を行う	-	中学生に対して実施済
		H30	-	-	引き続き実施する。	・引き続き、防災 教育を促進する。	引き続き、依頼に応じて実施していく。	国の指導により作成した指導計画を、全ての学校に 共有することを検討する。	引き続き実施。	引き続き、講座の実 施を検討する。	協議会において、防災教育 に関する指導計画を作成す る学校について支援する。	引き続き市立小学校の5年生に 災害図上訓練 (DIG) を行う。	・要望に応じて、 出前講座を実施す る。	実施に向けた検討を行う	_	引き続き中学生に実施していく。
		H31														
		H32														
						+		+	+	Name .	1			1		-
			松戸市	野 田 市	柏市	流 山 市	浦 安 市	足立区	節区	江戸川区	茨 城 県	埼 玉 県	千葉県	東京都	気 象 庁	関東地整
			<ul><li>市民啓発である パートナー講座や</li></ul>	<ul><li>・小学生向けに は、国や県から配</li></ul>	<ul><li>・小学生向けについては、要望 に応じ対応していく。</li></ul>	・今後、小学生向 けの防災説明会等	<ul><li>・今後、教育委員会等と 調整し、小学生向けの水</li></ul>	<ul><li>講演会等を通し</li></ul>	<ul><li>要望に応じて、</li></ul>		・必要に応じて出前講座を					<ul><li>自治体等の要請により、</li></ul>
	A·B·K		・	布される防災に関する資料を活用して、洪水等につい て指導	[H28~]	を検討していく 【H30~】	書対策教育の見直しについて検討していく。 【H29~】	て江戸川等の水害 (昭和22年のカス リーン台風)の脱 明を行っている。	出前講座を実施する。	- 小中学校の総合学 部の中で、防災教育 (地震、風水害)を 実施。【継続実施】	・ かみに即じて田前師座を 実施 ・ 市町村の要請により出前 講座等を積極的に行ってい く。	・必要に応じて、出前講座を実施	<ul> <li>広報紙やFM防 災CM、高校生へ の出前講座等を通 じて啓発を行って いく。</li> </ul>	・「東京防災」を 活用した啓発支援 に取り組んでい く。 【継続】	<ul> <li>・河川事務所及び琉域自 治体の取組に協力する。</li> </ul>	講座等を積極的に行っていく
	A·B·K	H28年度 から 順次実施	各学校単位でおこ なっている防災会 議等で地震災害の 啓発と併せて水防 災についての啓発	布される防災に関 する資料を活用し て、洪水等につい	【H28~】 引き続き実施する	を検討していく	害対策教育の見直しにつ いて検討していく。	て江戸川等の水書 (昭和22年のカス リーン台風)の脱	出前講座を実施する。	習の中で、防災教育 (地震、風水害)を	実施 ・市町村の要請により出前	・必要に与じて、出前講座を実施	災CM、高校生へ の出前講座等を通 じて啓発を行って	活用した啓発支援 に取り組んでい く。 【継続】	治体の取組に協力する。	
	A·B·K 取組状況	H28年度 から 順次実施 H28	各学校単位で放送 なっている放会 調等で地震災害を防 変を発といいていい がある。 引き続き実施を行	布さる防災に関リて、指導 ・国による6年市し ・国による6年市し ・のの公教教育 ・のの公教教育 ・市市の公公教研育の ・市市での公教教育 ・市市での公教教研育の	[H28~]	を検討していく 【H3O~】	書対策教育の見直しについて検討していく。 【H29~】 ・平成29年度から今後、教育委員会もご問題し、小学生向けの水書が異教 育の見直しこかに大統	て江戸川等の水香 (総和22年のカス リーン台風) の栽 明を行っている。 一部の学校で実施	出前講座を実施する。	窓の中で、防災教育 (地震、風水害)を 実施。(継続実施) 小中学校において防 災教育を実施中。	実施 ・一本市時初の要請により出前 構座等を構植的に行ってい ・・ ・ ・ ・ 要請に対応する体制を整 備した。 (出前構座等の要 ・ ・ 要請なし」 ・ ・ 要請なし」 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・必要に与じて、出前講座を実施	災CM、高校生へ の出前講座等を通 じて啓発を行って いく。	送用した啓発支援 に取り組んでい く。 【継続】 「東京郎災」を活 用した啓発支援に 取り組んでいる。	治体の取組に協力する。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	連座等を構植的に行っていた ・助災教育に活用できるシー 検討の海の予算要求を実施。 ・助災教育に活用できるシー 検討な実施 解学部指導計画 (素)」を作成。
		H28年度 から 順次実施 H28	各学校中世でおこ。 なっている防災会 連等をで地震災策の 通等発している 通等発している がある。 がある。 引き続き実施を行 引き続き実施を行 引き続き実施を行	市さする節以上規 する資料を与して、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	【H28~】 引き続き実施する	を検討していく [HSO~]  東施に向けて検討していく。  - 51続き検討していく。	書対策教育の見直しについて検討していく。 (1-29~)  - 単級20年度から今後、 育業共会で必需対策数 等学品でで、企業対策を 等を発してので、 ・単級20年度から今後、 有業共会で、企業対策 等の見直しについて検討 する。	で江戸川等の水香 (密和22年の大 リーン台風) の前 時を行っている。 一部の学校で実施 要望等に応じて実施	出部議座を実施する。	窓の中で、防災教育 で地震、無機 で地震、無機 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実施・市司村の要請により出前 博座等を積極的に行ってい ・要請に対応する体制を整備した。 ・要請に対応する体制を整備した。 ・関連を等を行う。 ・のでは、	-	災のM、高性生へ の出間構理を持てて ・広報紙やFMIの ・広報紙をFMIの ・広報をFMIの ・広報をFMIの ・広報をFMIの ・広報をFMIの ・広報をFMIの ・広報をFMIの ・広報をFMIの ・広報をFMIの ・広報をFMIの ・広報をFMIの ・広報をFMIの ・広報をFMIの ・広報をFMIの ・たて ・たて ・たて ・たて ・たて ・たて ・たて ・たて	送用した啓発支援 に取り組んでい (種妹) 「東京防災」を活 用した智発支援に 取り組んでいる。 引き締き「東京防災」を活 形式度に取り組ん でいく。	治体の敗組に協力する。 創東地方整備機と連携し だ学校が災害育の推進体 が反式ができない。 が反式がある ができない。 を実施した。 名取組への協力方法など について検討を行った。	・助災教育に活用できるツ 検討の為の予算要求を実施。 ・助災教育に活用できるツ ・ 検討を実施。
		H28年度 から から 順次実施 H28	各学体単位でおこ なっている例との 議場で出現の進の の 最初では一位で、 の の の の の の の の の の の の の	市さす会議を通り、	【H28~】    日本語の   日本語のの   日本語のの   日本語の   日本語の   日本語の   日本語の   日本語の   日本語の   日本語のの   日	を検討していく [HSO~]  東施に向けて検討していく。  - 51続き検討していく。	書対策教育の見直しについて検討していく。 (1-(29~)  - 平成29年度から今後、教育委員会者と規整し、小学生向けの水害対策数 同の見直しについて検討する。  - 平成29年度から今後、教育系別対策が高い、大統計がある。  - 東護により出前議座等を行う。  - 必要に応じて出前議座	で江戸川等の水香 (総和22年の大 リーン台風) の設 棚を行っている。 一部の学校で実施 要望等に応じて実施 していく	出部議座を実施する。 と 心部議座を実施 と が が が が が が が が が が が が が	窓の中で、防災教育 で地震、無機 で地震、無機 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実施・市司村の要請により出前 博座等を積極的に行ってい ・要請に対応する体制を整備した。 ・要請に対応する体制を整備した。 ・関連を等を行う。 ・のでは、	勝 - 予定なし	災のM、高性生态 の出部構造を持ていて ・広衛紙やFMM・ ・広衛紙やFMM・ ・広衛紙やFMM・ ・広衛紙やFMM・ ・広衛紙やFMM・ ・広衛紙を通っ ・広衛紙やFMM・ ・広衛紙をあっ ・広衛紙でFMM・ ・広衛を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	活用した啓発支援 に取り組んでい (種妹) 「東京助災」を活 用した啓発支援に 取り組んでいる。 引き締ぎ「東京助災」を活 形式取り組ん でいく。 引き続き「東京助災 災支援に取り組ん でいく。	治体の敗組に協力する。 関東地方整備問と連携した学校が此時間の推進がした に学校が此時間の推進が がにおける地質がよいである。 がにおける地質がよいであった。 東原ルた。 表種の伝わられています。 東原単位のは力がよった。	<ul> <li>・助災教育に活用できるツー 検討の為の予算要求を実施。</li> <li>・助災教育に活用できるツー 検討を発施。</li> <li>・ 割災政務等学器指導計画 (家) 』を作成。</li> </ul>

体的な取組	組の柱										実施する機関						
事 1	項	課題	目標時期	五	さ 市た	春日	草如	越谷	久喜	八潮	三郷	幸	吉	杉戸	松	市川	船橋
具体的	的取組			置町	巾た ま	部市	市	市	市	市	市	手 市	市	ET ET	伏町	市	市
2)ソフト対策 (2)-1逃(	策の主な取組 げ遅れゼロに向けた迅速かつの -2平時から住民等への周知・	的確な避難 数素 800 st	行動のため	の取組													
(2)-1-	之十两加·9世氏等"人以周知·9	A·E·G		# 町内の電柱、学校、公共施設等に 水に、公共施設等に 水深、深速値板 との表示看板を検 討する予定。 【H29~】	・企業と、避難場 所断を 所断を に関する が の 等に関する の が 、 が 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	・遊難場所に指定避難場所であ ることを表示する看板を設置し たる軽いご避難の案の各板を投 関している。 ・遊離場所は事家内付職社会 一プ及びNTプループの広告 に関する協定を東京電力グループ プ及びNTプループの で選集所ないる。 では では では では では では では では では では	<ul> <li>原址厂游弊情品</li> </ul>	・現在、東京電力グルー フ会社と、電社への看板 設置に関する数での締結 に向けて調整中。 【H28】	・H27年度末に 市内39か所に設 置。	・想定浸水深を表示する無板は未整 原であるが、電内 第であるが、電柱 150箇所の電柱 板を設置 している。 ・避難所誘導 の設置 の設置 所を増 す。	・避難場所に指定避難場所であることを表示する看板を設置している。	・カスリーン台風の時の浸 水深が分かる場所について は、電柱に表示番板が設置 されている。	・市内小中学校、県立高校、一 財公計場談に指定金額場所の看 販金工器報場所接着看板を20箇 所投資 企工業と高程場所接象内付金 住立氏に関する協定を締結して おり、請次、投資を拡大してい る。	・現在17箇所設 置済み。	・避難場所に指定 避難場所である。 とを表示する看板 や誘導薬内板の設 圖について検討し ていく。【H3O ~】	・東京電力グループ会社 と、電社への番板投欄に 関する協定を扱い。 (H/26) ・協定時報後、92本の電 柱に遅難傷所への案内板 を投置済み。	・避難所及び避難場所の誘導者 板を電化等に設備している。 ・表に、海拔の看板等に併せて 表示を行っている。
図り.	幣時から水防災意識の向上を ・迅速な避難を実現するため まることまちごとハゲード ブ」の検討、案内板の整備等			東京電力グループ 会社と、電柱への 避難場所誘導案内 付着板設置に関す る協定の締結を実 施。(8月4日)	1か所設置済み。	年度中、13枚の避難場所案内 書板を設置。	・東京電力グルー ブ会社と、電柱へ の看板設置に関す る協定を締結。	衛柱への着板投資に関する協定の締結を行い、順次投資を拡大している。	_	年度内に避難所誘 導番板を設置す る。	・東京電力グループ 会社と、電柱への看 板設置に関する協定 を締結。	設置済み	企業と避難場所誘導案内付電柱 広告に関する協定を締結しており、順次、設置を拡大した。	設圖済み、	今年度実施予定なし	-	-
		取組状況	H29	-	_	年度中、34枚の避難場所案内 看板を設置。(12月末現在)	-	電柱への看板設置に関す る協定の締結を行い、順 次設置を拡大している。	-	年度内に避難所誘 導番板を設置す る。	協定に基づき、電柱 への看板設置を進め る	-	企業と避難場所誘導案内付電柱 広告に関する協定を締結してお り、順次、設置を拡大した。	避難所等案内板の拡充		-	-
			H30	-	-	引き続き、避難場所案内看板の 充実を図る。	・引き続き迅速な 避難が行えるよ う、案内板の整備 等実施していく。	引き続き、電柱への看板 設置について、周知啓発 を行っていく。	-	実施済み	引き続き、電柱への 看板設置を進める	-	企業と避難場所誘導案内付電柱 広告に関する協定を締結してお り、順次、設置を拡大する。	今年度実施予定な し	今年度実施予定なし	-	-
			H31														
			H32														
				松戸市	野田市	柏市	流山市	浦安市	足 立 区	葛飾区	江戸川区	茨 城 県	埼 玉 県	千葉県	東京都	気 象 庁	関 東 地 整
		A·E·G		・避難誘導体制等 整備後、看板や周 知の必要性につい て行っていく予定 【H29~】	<ul> <li>現在、野田市で整備は行っていない。</li> <li>種板設置の必要性について、検討をしていく。</li> <li>【H28】</li> </ul>	予定なし	今後、避難誘導 看板の設置を挟討している。 【H30~】	- 建朝所及び避難場所に 海抜表示を行っている。 【~H27】	新たな浸水想定区 域を選がいて、 を選がいて、 く。(ただし、当大 さなで、当大 さな被害が想定される別川の浸水想 に定なって想定を はれる別川の浸水想 に深を表示予定) 【H31】	・荒川・江戸川に が取ります。 ・荒川・江戸川に 原板(またとハザード 原板(またとハザード マップ)をしたのの。 電柱に設置している。 ・浸油しに発置している。 ・浸油したない。 ・浸油したない。 ・浸油したない。 ・浸油したない。 ・浸油したい。 ・浸油をしたい。 ・、・、・、・、・、・、・、・、・、・、・、・、・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・水害に対する区を の意場を啓発する好き かい中学校のなどを か公園、堤町など区 様子が長い、一体 標示板」を設置。 ・洪松屋と ・洪松屋と 様の設置を検討して いく。 [H29~]						- 「まるごと味らごとハザード マップ」の香板設置に関する助 言や財政支援を実施している。
			H28	-	・避難所看板に洪 水対応の可否を表 示。	該当なし	統合型GISの導入の検討。	・避難所及び避難場所に 海抜表示を行っている。 【〜H27】	整備に向け検討中	-	まるごとまちごとハ ザードマップの実施 について検討中。						<ul> <li>助言や財政支援に関する体制 を確保。</li> </ul>
		取組状況	H29	必要性について検討をおこなう予定	引き続き実施	予定なし	統合型GISを 使ったハザード マップの検討。	經続実施	整備に向け検討。	-	まるごとまちごとハ ザードマップの実施 について検討中。						・引き続き、助言や財政支援に 関する体制を確保する。
			H30	必要性について検 討をおこなう予定	引き続き実施	予定なし	遊難誘導看板や水 深表示看板の設置 を検討	継続実施予定	整備に向け検討。	-	公共施設や電柱を中 心に看板の設置を検 討していく。						・引き続き、助言や財政支援に 関する体制を確保する。
			H31														
			H32														

な取組の柱										実施する機関						
事 項	課題	目標時期	五霞	さ 市た	春日部	草加	越谷	久 喜	八潮	垂郷	幸 手 市	吉川	杉戸	松伏町	市川	船橋市
<b>具体的取組</b>			BJ	ま	部市	市	<del>й</del>	The state of the s	市	市	<b>т</b>	市	æŋ	mj	市	市
<ul><li>対策の主な取組</li><li>1逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ</li><li>1-2平時から住民等への周知・</li></ul>	的確な避難 教育・訓練	注行動のため( に関する取組	の取組													
1 Linds Office And Annual	2X F3 W1498	141217 0424														
	B•J	H29年度														
		H28														
気象情報発信時の「危険度の色 け」、や「警報級の現象」等の改 ;																
5																
	取組状況	H29														
		H30														
		H31														
		H32														
		Г	松	里等		油	浦	문	葛	江	节	掎	Ŧ	東	気	関
			声市	野 田 市	柏市	流 山 市	浦 安 市	足立区	飾区	江戸川区	茨 城 県	埼 玉 県	千 葉 県	京都	象	関東地整
															・気象警報等に関連して 「危険度を色分けした時 系列」及び「警報級の可 能性」の提供を開始する	
	в∙Ј	H29年度													能性」の提供を開始する 計画	
															流域反击前に対し、改善	
															流域区市町に対し、改善 される情報の概要説明を 実施。 H28年6月から防災情報	
		H28													実施。 H28年6月から防災情報 提供システムにて試行提 供を行っている。	
															「危険度を色分けした時 系列」及び「警報級の可 能性」の提供を5月に開始	
															すると共に、メッシュ情 報を活用した大雨、洪水	
	F-101010														注意報警報の改善を7月に 実施した。	
	取組状況	H29														
	取組状況	H29														
	取組状況	H29 H30													流域の自治体等における 防災気象情報の理解・活 用を支援・促進する取組	
	取組状況	H30													流域の自治体等における 筋災気象情報の理解・活 用を支援・促進する取組 みを進める。	
	取組状況														流域の自治体等における 防災災象情報の理解・活 用を支援・促進する取組 みを進める。	

的な取組の柱										実施する機関						
事 項	課題	目標時期	五	さ 市た	春日	草	越谷	久喜	八	=	幸	吉川	杉戸	松	ī.	船橋
具体的取組			置	巾た ま	部市	市	市	市	潮市	郷市	手 市	市	ET ET	伏町	市	市
ソフト対策の主な取組 )-1逃げ遅れゼロに向けた迅速が 2)-1-2平時から住民等への周	つ的確な避り	推行動のため	の取組		1				1			I			'	
2] 一1一2半時から往民等への周	知・教育・訓練 E・G・ I・L	H28年度	# 要配慮者利用施設への対応等を適した。 要配慮と同じ。 を選集した。 が関係を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	・福祉部局と調整 していく。【H 29】	<ul> <li>要配慮者利用施設等への対応 等を考慮した課業計画及び課業 訓練の導入の業任を検証し、 必要に応じ課業訓練の実施を検 対していく【H29~】</li> </ul>	施設を対象とした	・福祉担当課と問題し、 要配慮者利用施設におけ る避難訓練の支援等を検 討していく。 [HSO]	・要配慮者利用施設の避難訓練について、福祉担当練と調整に別をに関整の実施支援を検討していく。【H29~】	・要配慮者施設関係線と調整し、要配慮者利難財施設 配慮者利難財施設 別ける避難財動 や、避難財練の実施支援を検討して いく。	・要配慮者利用施設 等への対応等を考慮 した謎練制画及の必要 性を検証し、必要に 応と披記り、必要に 応と披記り、必要に 応と披記り、 日29~ H32で検討】	・福祉担当課と調整し、要 配慮者利用施設における避 難訓練の支援を検討してい く。【H32】	要配慮者施設関係課と連携し、要配慮者利用施配における 別線の実施支援を検討する。 [1128~]	・要配慮者利用施設の避難訓練について、福祉担当集と いて、福祉担当集と に調整の 実施支援を検討し ていく。【H29】	・福祉担当課と調整し、訓練の実施 支援を検討してい く。【H29~】	<ul> <li>関係機関等と訓練の実施について検討していく。 [H29~]</li> </ul>	・要配慮者施設関係課と連携 し、要配慮者利用施設における 訓練の実施支援を検討する。 【H29~】
		H28	-	浸水想定域に入る 要配慮者施設の抽 出を行った。	関係各様との誇越を進めている。	-	-	_	要配慮者施設関係 課と調整し、要配 慮者の避難体制に ついて検討を行っ た。	-	-	・要配者利用施設での訓練を行うために施設管理者と協議を実施した。 ・ 助災知識の習得のため、市主権の防災リーダー認定講習会に参加していただいた。	_	今年度実施予定なし	-	-
⑦要配慮者利用施設や地下施設 大規模工場における避難訓練	取組状況	H29	-	関係課と調整し、 要配慮者利用施設 を対象とした避難 訓練等を必要に応 じ検討していく。	避難確保計画の作成と併せて、 関係各様と調整をしている。	-	-	水防法改正に伴う 要配慮者有用施設 の避難確保計画難難 訓練の実施につい て、関係課を通じ 周知し対応を依頼 した。	要配慮者施設関係課と調整し、要配慮者の避難体制について検討を行う。	・要配慮者利用施設 等への対応等を考慮 した避難計画及び避 難訓練の導入を挟討 し、必要に応じ避難 訓練の実施を検討す る【H29〜H32で検 討】	・要配慮者利用施設管理者 に対して遊難確保計画の作 成及び避難訓練について支援した。	要配首利用施設での訓練を行うために施設管理首と協議を実施した。     ・防災知識の習得のため、市主催の防災リーダー認定講習会に参加を要請する。	・NPO法人と福祉避難所開設訓練 を実施。	今年度実施予定なし	-	要配慮者施設関係課と連携し 訓練の実施支援の検討中
		H30	-	関係課と調整し、 要配慮者利用施設 を対象とした避難 訓練等を必要に応 じ検討を予定して いる。	引き続き関係各課と調整を行 う。	・関係課と調整 し、要配慮者利用 施設を対象とした 遊難訓練等につい て検討していく。	<ul> <li>要配慮者利用施設等の 避難訓練の導入を検討 し、必要に応じ避難訓練 の実施を検討する。</li> </ul>	引き続き、要配慮 者利用施設におけ る避難権保計画作 成や、避難訓練の 実施を推進してい く。	要配慮者施設関係 課と調整し、要配 慮者の避難体制に ついて検討を行 う。	引き続き要配慮者利 用施設等へ起離計 を考慮とした。 を考慮とした。 が避難計 は、 が避難が が が が が が が が が が した が が う へ が う へ が う へ が う へ が う へ が う 、 う と が 。 と が 。 と が ま が り が り が り が り が り が り が り が り し に り が り に し に が を が を は が を は が は が は が は が は が は が は	・引き続き、要配慮者利用 施設管理者に対して遊難確 保計画の作成及び避難訓練 について支援する。	・要配者利用施設での訓練を行 うために施設管理者と協議を検 訪。災知識の習得のため、市主 値が筋災リーダー認定講習会に 参加を要請する。	・引き続き福祉担 当課と調整を行 い、訓練の実施支 援を検討する。	・要配者利用施設 での訓練を行うた めに施設管理者と 協議を検討する。	-	要配慮者施設関係課と連携し、 訓練の実施支援の検討を行っていく
		H31														
		H32														
			松戸市	野 田 市	柏市	流山市	浦安市	足 立 区	<b>葛</b> 飾 区	江 戸 川 区	茨 城 県	埼 玉 県	千葉県	東京都	気象庁	関 東 地 整
	E•G•	H28年度 から 順次実施	・関係部局及び関係機関と調整していく。【H29】	・各種施設毎にした 水響訓練とした 接続を対象を実施の検討もした がまた。 が表示を接続してする。 は、関係の は、 と に と が は と が と の と の と の と の と の と の と の と の と の		・関係課と調整 し、要配慮者制用 施設における制練 の実施支援を検討 していく。【H28 ~】	・福祉担当課と調整し、 要配慮者利用施設におけ る訓練の実施支援を検討 していく。【H29~】	庁内連携により、 訓練の実施に向け た役割や行程を確 認する。【H28 ~】	・平成26年度に 対象解制 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を	地下施設には浸水 に対する注意機起等 の情報連絡を実施し ている。						
			実施に向けて関係 機関等と検討をお こなう	・避難訓練の実施 や支援について検 討中。		実施に向けて検討 していく。	<ul> <li>平成29年度から福祉担当課と調整し、要配慮者利用施設における訓練の実施支援を検討する。</li> </ul>	実施に向け検討中	対象施設に対して 避難計画策定に関 する説明会を実施 した。	地下施設は連絡体制 を確認。要配慮者利 用施設及び大規模工 場は庁内関係部署と 調整中。						
	取組状況	H29	実施に向けて関係 機関等と検討をお こなう	・避難訓練の実施 や支援について検 討中。		引続き検討する。	<ul> <li>平成29年度から福祉担当課と調整し、要配慮者利用施設における訓練の実施支援を検討する。</li> </ul>	庁内検討会を実施。	対象施設に対して 避難計画策定に関 する説明会を実施 予定	要配慮者利用施設の 避難計画作成義務化 に向けた対応を検 討。						
			実施に向けて関係 機関等と検討をお こなう	遊難訓練の実施や 支援について関係 機関との調整を検 討する		避難確保計画作成 の支援を行ってい く。	• 継続検討予定	庁内検討会を継続 する。	対象施設に対して 避難計画策定に関 する作成について 支援する。 対象施設に対して	要配慮者利用施設向けに避難計画のひな形を作成予定。						
		H31							対象施設に対して 避難計画策定に関 する作成について 支援する。 対象施設に対して							
		H32							避難計画策定に関する作成について 支援する。							

な取組の柱										実施する機関						
項	課題	目標時期	五霞	さ 市た	春日	草加	越谷	久喜	八潮	無郷	幸手	吉川	杉戸	松伏	市川	船橋
体的取組			町	<sup>叩</sup> た ま	部市	市	市	市	市	市	市	市	₩7	町	市	市
→対策の主な取組 洪水氾濫による被害の軽減及び退 −2−1水防活動の効率化及び水	難時間の	確保のための	の水防活動等の取	和	•				•					*		
-2-1水防活動の効率化及び水	防体制の強	化に関する	<ul><li>消防団が水防団</li></ul>		<ul><li>消防団が水防団を兼務してお</li></ul>					・消防団が水防団を	・消防団が水防団を兼務し	・消防団が水防団を兼務してお	<ul><li>消防団が水防団</li></ul>	<ul><li>消防団が水防団</li></ul>	<ul><li>消防団が水防団を兼務</li></ul>	
	Ν	引き続き 実施	を競り、能域のは、 を対象を をしるを をしるを をしると をしる をしると をしる をしると をしる をしると をしると をしる をしる をしる をしる をしる をしる をしる をしる		の、伝達の種談や実施について は、日頃の訓練や火災現場等で 行っている。					兼持しており、伝達 の確認や実施にごない では、日頃の記 が出現の記 が リング は も は る。 ・ 消防団用のデシタ ル間 場無線を配備し ている。	については、日頃の訓練や 火災現場等で行っている。	は、日頃の訓練や火災現場等で行っている。	を乗移して駅かり、 についてが東海 についてが、 の訓練でする。 ・今後の主路は、災功・ ・今後の主路にでする。 ・今後ので変数と伝達が での変数と伝達が での変数ができる。 でのでのできる。 でのでのできる。 でのできる。 でのできる。 でのでのできる。 でのでのできる。 でのでのできる。 でのでのでのできる。 でのでのできる。 でのできる。 でのでのできる。 でのでのできる。 でのでのでのできる。 でのでのでのでのでのできる。 でのでのでのでのでのできる。 でのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでの	の訓練や火災現場 等で行っている。	しており、伝達の権総や 訓練実施については、日 ころの研修や訓練等で 行っている。	
①水防団等への連絡体制の再確認 と伝達訓練等の実施		H28	水防団の情報伝達 手段を強化するため、トランシー バー(20台)を 配備した。		連絡体制の再確認は訓練時に 行っている。					-	特別点検、放水訓練、火災 出動等により情報伝達を 行った	-	火災出場などの招 集を兼ねて実施済 み。	実施済み	- 継続的に実施	
	取組状況	H29	情報伝達手段を強 化するため、トラ ンシーバー(30 台)を配備予定。		連絡体制の再確認を、訓練時等 に継続的に実施している。					-	特別点棟、放水訓練、火災 出動等により情報伝達を 行った。	-	連絡体制の再確認及び伝達訓練の検討	実施済み	・継続的に実施	
		H30	・情報伝達訓練の 検討		継続的に連絡体制の再確認は、 訓練時に行う。					-	引き続き各種訓練や火災出 動等で情報伝達を行う。	-	引き続き出動等で実施する。	実施済み		
		H31														
		H32														
			松戸市	野 田 市	柏市	流 山 市	浦 安 市	足 立 区	葛飾区	江 戸 川 区	茨 城 県	埼玉県	千葉県	東 京 都	気象庁	関 東 地 <u>整</u>
	Ν	引き続き 実施	・消防団が水防団 を兼務しており、 伝達の確認や実施 については、日頃 の訓練や火災現場 等で行っている。	・消防団が水防団 を兼務しており、 伝達の確認や実施 については、日頃 の訓練や火災現場 等で行っている。		・情報伝達手段: 携帯電話、メール・今への選絡をも、水筋の 最確なも、水が助の 最確なとはできる。 で、適かでは、 がある。 で、適かで、 をいる。 で、 で、 で、 で、 で、 をいる。 で、 で、 で、 をいる。 で、 で、 の の の の の の の の の の の の の の の の の				・今後も、水防団等への連絡体制の再確 認と伝達訓練等の実 施について、適宜検 討する。						
		H28	実施中	經統中		訓練等の実施を検 討する。				水防団(消防団)が 参加する水防訓練を 実施。						
	取組状況	H29	実施中	H29も継続してい <		東島中部地区連合 水的団水防演習へ の伝達訓練導入の 検討。				水防団(消防団)が 参加する水防訓練を 実施。						
		H30	実施中	本年度も継続していく		5月26日に行う東 第中部地区連合水 防団水防漢習への 伝達訓練導入の検 討。				水防団 (消防団) が 参加する水防訓練を 実施予定。						
		H31														
				1												

な取組の柱										実施する機関						
14 項	課題	目標時期	五霞	さ 市た	春日	草 加	越谷	久喜	八潮	三郷	幸手	吉川	杉戸	松伏	市川	船橋
具体的取組			町	ま	部 市	市	市	市	市	市	क	市	æŢ	#J	市	市
ト対策の主な取組 洪水氾濫による被害の軽減及び退 2-1水防活動の効率化及び水	難時間の	在保のための	の水防活動等の取	組												
-2-1水防活動の効率化及び水	防体制の強	化に関する	<ul><li>毎年、国が実施</li></ul>		<ul><li>毎年、国が実施している重要</li></ul>	要 ・地域住民の参加				• 河川事務所、県土	・毎年、国が実施している	・毎年、国が実施している重要	<ul><li>毎年、国が実施</li></ul>	・毎年、国が実施	・毎年、国が実施してい	
	N·O		している重要水防 箇所等の共同点検 に町職員が参加し ている。		水的箇所等の合同巡視に、市場 員が参加している。	版 について検討して いく。【H29 ~】				整備事務所、消防 署、市職員で巡視を している。	重要水防箇所等の合同巡視 に市職員が参加し、消防団 研修で周知していく。 【H29~】	水筋箇所等の共同点検に市職員 が参加している。	している重要水筋 箇所等の共同点検 に参加している。 ・住民について は、自主防災組織 のリーダーや区長 に参加をお願いし ている。	している重要状的 簡所等のしている実施 に参加で、また、の共同点念。 ・また、の重要水が している主理点検で は、水が団長 かしている。	る重要水防菌所等の共同 点検は、市職員が参加し ている。	
②水筋団や地域住民が参加し、洪			国が実施している 重要水防箇所等の 共同点検に町職員 が参加。(6月16 日)		平成28年6月16日に実施 た重要水が箇所合同巡視に参 し、洪水リスクの高い区間の 挟を行った。	bo				要水防筋所等の共同	重要水防箇所の合同巡視に 市職員が参加し、消防団研 修で周知した。	国が実施している重要水的箇所 等の共同点検に市職員が参加し た。	参加している。	実施済み	・継続的に実施	
水に対しリスクが高い区間の共同 結検等の実施 重要水筋箇所の見直し及び水筋 資機材の確認	取組状況		国が実施している 重要水防徳所等の 共同点検に町職員 が参加予定。		水防団も参加し、水防側接を 施した。また、水防重要箇所 巡視し、自主防災組織等にも、 適宜必要な情報を提供してい る。	を 民の参加について ・ 検討していく。				<ul><li>・地域住民の参加に ついて検討してい く。【H29~】</li></ul>	重要水筋箇所の合同巡視に 市職員が参加し、消筋団研 修で周知した。	園が実施している重要水的圏所 等の共同点検に市場員が参加し た。	共同点検参加予定	実能済み	• 継続的に実施	
	-	H30	国が実施している 重要水防筋所等の 共同点検に町職員 が参加予定。		引き続き、訓練に参加し、自当 防災組織等に情報を提供してい く。	主・引き続き地域住 にの参加について 検討していく。				引き続き地域住民の 参加について検討し ていく。	消防団研修で重要水筋簡 所、水防資機材の確認を行 なう。	国が実施している重要水筋箇所 等の共同点検に市職員が参加予 定。	共同点検参加予定	実施済み	-	
		H31														
		H32														
	+													+		
			松戸市	野 田 市	柏市	流 山 市	浦 安 市	足 立 区	節区	戸川区	茨 城 県	埼 玉 県	千葉県	東 京 都	気象 庁	関東 地整
	N·O		・毎年、国が実施 している重要水防 箇所職員が参加して いる。	・毎年、国が実施 している重要水防 箇所等の共同点検 に職員が参加して いる。		・今後、共同点検 を実施について検 討する。 [H29 ~]			・国から消防庁へ 連絡し、消防署職 員が参加してい る。	・今後も国が実施している重要水防箇所 等の共同点検に参加 していく。	毎年、国が実施している 重要水防筋所等の共同点検 に参加している。	・国実施の重要水防箇所合同点 様への参加 ・県管理列川における重要水防 箇所合同点検の実施	・国が実施する共 同点検に参加。	いる重要水防筒所	・河川事務所が実施し、流域区市町が参加する共 同点棟に同行し、リスク の高い区間について確認 する。	- 重要水防箇所等の共同点 実施している。
		H28	実施済み	国が実施した合同巡視に職員が参加した		重要水防菌所、合同巡視への水防団の参加について検討する。			_	重要水防簡所の共同 点検に参加。	参加した。(今後も開催時 に参加する。)	-	共同点検に参加	・国が実施している重要水防箇所等 の共同点検に参 加。	-	• 6月に合同巡視を実施。
	取組状況	H29	実施済み	国が実施する合同巡視に職員が参加した		河川合同巡視への 治線住民の参加を 検討する。			_	重要水防箇所の共同点検に参加。	国が実施している重要水防 箇所等の共同点検に参加す る。	県管理河川における重要水前箇 所合同点検の実施	共同点検に参加	・国が実施している重要水防箇所等 の共同点検に参 加。	_	<ul><li>5月に合同巡視を実施。</li></ul>
		H30	実施予定	国が実施する合同 巡視に職員が参加 予定		排水ボンブの点検 を行う。			_	重要水防箇所の共同 点検に参加予定。	国が実施している重要水防 箇所等の共同点検に参加す る。	・国実施の重要水防菌所合同点 挟へ参加予定 ・県管理河川における重要水防 菌所合同点挟の実施予定	共同点検に参加予 定	継続して、国が実施している重要水 筋している重要水 防箇所等の共同点 検に参加する。	共同点検に同行し、リス クの高い区間について確 認を行えるよう調整を図 る。	・5月に合同巡視を実施予 ・水防資機材等も含め、維 者も共同して点検を実施予
	1 1															1
		H31							-							

な取組の柱										実施する機関						
事 項	課題	目標時期	五霞	さ 市た	春日	草加	越谷	久喜	八連	=	幸手	吉川	杉戸	松伏	市川	船橋
具体的取組			町	<sup>叩</sup> た ま	部 市	市	市	市	市	市	市	市	町	町	市	市
ト対策の主な取組 2洪水氾濫による被害の軽減及び過 -2-1水防活動の効率化及び水	難時間の	確保のための	の水防活動等の取	組												
一之一1水防洁额の効率化及0水1	の体制の強		収報 ・毎年、水防組合 による水防訓練を 実施。(6月上 旬)【H28】		・江戸川水的演習に参加している。					・江戸川水防事務組合の水防制線が、4 年に1度は三糖市場 健の定め、水防団が 訓練を行っている。 他市町で開催の場合 は分団長等が見学に 行く。	・利根川水系合同水的訓練 に43名の水的団員が参加 した。【H28】	・江戸川水的漢語を実施予定 【H31年度】 ・江戸川水的事務組合(春日即 市・三師・吉川市・松伏町) の水的脚組入・4年11度は書 川市開催のため、本好回開節 回及び自主的災相職、開第節が 訓練を行っている。他市町で開 催の場合は水的回帰的回りが回 長、湘的書等が発学に行く。	・利根川水系合同水的訓練に65名参加した。	・江戸川水防漢部に参加している。	・県主催(土木事務所) の水防制線へ参加してい る。	
3水防団、自主防災組織、消防署等の関係機関が連携した水防訓練等の実施 水防団間での連携、協力に関す る検討		H28	水防組合による水 防訓練を実施(6月 12日)		平成28年5月28日実施の江 戸川水航漢留に参加した。					平成28年5月 水防事務組合との共 催による水防演習を 実施した。	<b>8</b> 0 € 10 € 10 € 10 € 10 € 10 € 10 € 10 €	三螂市で行われた水筋削縁を見 学した。		実施済み	• 維統的仁実施	
	取組状況		水防組合による水 防訓練を実施(6月 上旬)		平成29年5月、水防事務組合 による水防訓練を実施した。					春日部市で行われた 水防訓練に参加し た。	<b>⊗</b> 10.	春日部市で行われる水防訓練を 見学した。	防訓練への参加。		- 継続的に実施	
		H30	水防組合による水 防訓練を実施(6月 上旬)		引き続き、水防事務組合による 水防訓練に参加予定。					松伏町で行われる水 防訓練を見学予定。	利根川水系合同水防訓練に 参加する。	松伏町で行われる水防訓練を見 学予定	利根川水糸岩向水 防訓練に参加す る。	水防演習を開催す る。	・継続的に実施	
		H31														
		H32														
			松 戸 市	野田市	柏市	流山市	浦安市	足立区	第 節 区 ・利根川水系合同	江戸川区	茨 城 県 ・毎年実施されている利根	埼玉県・第65回利根川水系合同水防	千葉県 ・利根川水系連	東京都	気 象 庁 ・協議会関係機関が実施	関東 地 整・水防管理団体が行う別
	0	引き続き 実施	水防訓練職員が参加した。 ・原年、協山市と ・の場合は、 ・の場合は ・のでは ・のでは ・のでは ・のでは ・のでは ・のでは ・のでは ・ので	野田市水防湊器に 市内の全消防団が 行っている。		組織する東場中部 地区連合水が同で 水が演習を実施し ている。			水防訓練に毎年参加 仮の水防訓練も毎年実施	関係機関との連携を 強化し、水切影響の 万全を図る目的で水 防削線の実施を模様 していく。	川水的調味への参加 ・網内の水的管理団体が主 催する訓練への参加	訓練への参加(多数の職員が参加)	合·総合水防演習 及び水防管理団体 が実施する「水防 訓練に毎年参加。	合・総合水防演習 に今後も引き続き	する訓練に必要に応じて	1093.
		H28	実施済み	5月15日に実施 した野田市水防演 習に市内の消防団 が参加した		5月28日に水防湊 習を実施した。			利根川水系合同水 防訓練に参加 区の水筋訓練も実 施	各水防関係機関が参加する水防訓練を実施。	参加した。(今後も開催時 に参加する。) H28年は7団体の主催する 訓練へ参加した。	-	水防漢習に参加	・利根川水系連合・総合水防漢習 に参加。	次年度の利根川水系連合 水防演習に参加すること について、関係事務所と 調整を行い、訓練への協 力方法について検討し た。	<ul> <li>水防管理団体が行うまかる。</li> </ul>
	取組状況	H29	実施済み	5月14日に実施 した野田市水防演 習に市内の消防団 が参加した		東島中部地区連合 水的団水的演習へ の自主防災組織の 参加の検討			利根川水系合同水 防訓練に参加 区の水防訓練も実施	各水防関係機関が参加する水防削機を実施。	利根川水系連合・総合水防 演習及び場内水的管理団体 が主催する訓練へ参加し た。 H29年は6団体の主催する 訓練へ参加した。	・第66回利根川水系連合・総合水的演習を開催 ・水的管理団体が行う水的訓練、講習会に参加(11個所 観典21名参加) ・消的団員を対象とした出前講 座の実施 ・水的技術講習会への参加	水防漢器に参加	・利根川水系連合・総合水防演習 に参加。	第66回利根川水系連合水 防演習に参加すると共に 広報デースを活用した防 災広報を行った。 また、次年度の利根川水 系連合水防漢習につい て、関係事務所と訓練へ の協力方法について調整 した。	<ul> <li>水防管理団体が行う8 加。</li> </ul>
		H30	実施予定	5月13日に野田 市水防演習を実施 予定		5月26日に水防演習を実施予定。			利根川水系合同水 防訓練に参加 区の水防訓練も実 施	各水防関係機関が参 加する水防訓練を実 施予定。	利根川水系連合・総合水防 演習及び県内水防管理団体 が主催する訓練へ参加す る。	・第67回利根川水系連合・総合水防演習への参加予定 ・水防管理団体が行う水防訓 練、講習会に参加予定	利根川水系連合・ 総合水防演習を開 催予定	利根川水系連合・ 総合水防演習に引 き続き参加する。	第67回利根川水系連合水 防演習に参加すると共に 広報ブースを活用した防 災広報に取り組む。	・水防管理団体が行う。 加。
		H31							利根川水系合同水 防訓練に参加 区の水防訓練も実施							
		H32							利根川水系合同水 防訓練に参加 区の水防訓練も実 施							

な取組の柱				実施する機関													
項	課題	目標時期	五霞	さ 市た	春日	草加	越谷	久喜	八潮	垂郷	幸手	吉川	杉戸	松伏	市川	船橋	
体的取組			町	<sup>叩</sup> た ま	部市	市	市	市	市	市	市	市	町	町	市	市	
対策の主な取組 共水氾濫による被害の軽減及び過 -2-1水防活動の効率化及び水	壁難時間の	確保のための	の水防活動等の取	組	•												
一2—1水防活動の効率化及ひ水	防体制の強		収組 ・消防団(水防 団)のポスターを 関示・要なに動きない。 の主要な活動を紹 介し、団員募集を 行っている。		・市のホームページで消節団 (水筋団)の活動等を紹介する ページを作成し、回原を等集し ている。 ・常時ポスターの掲示やイベン トでのチラシンの配布などPR活動を実施し、広く団員を募集し ている。	<u> </u>				・消防団(水防団) のホームページを作成し、組織や活動内 窓について紹介し、 常時団員要集を行っ ている。	・各分団において勧誘活動 を行っている。 ・女性団具については、広 報誌で募集を行っている。	・消防団(水防団)のホーム ベージを作成し、組織や活動内 宮について紹介し、常時団員募 集を行っている。	・広報紙に掲載や ボスターの掲示 で、募集を行って いる。	同)のホーハペー	・消節団のホームページ を作成し、組織や活動内 容について紹介し、常時 団員を募集している。		
ジャ防活動の担い手となる水防協		1100	・消防団(水防 団)のポスターを 掲示し、広報誌へ の主要な活動を紹 介し、団員募集を 行っている。		PR活動を継続して実施している。					-	・各分団において勧誘活動 の実施 ・広報誌で団員募集 ・ホームページで団員募集	・各分団において勧誘活動の実施・市民まつりなどにおいて勧誘活動の実施・広報誌で団員募集・ホームページで団員募集	広報紙に掲載及び 庁舎等にポスター 掲示済み。	実施済み	<ul> <li>継続的に実施</li> </ul>		
がいた動かだい 手になるがい 動	取組状況	H29	・平成28年度と同様の取組みを行う。		リーフレットの配布などによ リ、ア R活動を実施している。					-	各分団において勧誘活動の実施     広報誌で団員募集     ホームページで団員募集	・各分団において勧誘活動の実施 ・市民まつりなどにおいて勧誘 活動の実施 ・広報誌で団員募集 ・ボームページで団員募集	ボスター等による 団員の常時募集	実施済み	・継続的に実施		
		H30	<ul> <li>平成28年度と同様の取組みを行う。</li> </ul>		引き続き、イベントでのボス ターの掲示、リーフレットの 市を実施する予定。					-	・各分団において勧誘活動 を実施する。 ・広報誌、ホームページで 団員を募集する。	H29の取り組みを継続	ポスター等による 団員の常時募集	実施済み	・継続的に実施		
		H31															
		H32															
			松戸市	野田市	柏市	流山市	浦安市	足 立 区	葛飾区	江 戸 川 区	茨 城 県	埼玉県	千葉県	東京都	気象庁	関東地整	
	0	引き続き 実施	・市のホームペー ・中のホームペー ・ウやポスター、パ ンフレットで、パ 第 防団員募集を行っ ている。	・市川海の本の ・市川海の本の ・市川海の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		・市の消防部局が主体となり、市のよなり、市のよなり、市のボームページンフトなどで、という場合の募集をおっている。			・若いばた将来 の地として性労の保する入 団にないまする入 団にないまする入 団になったの。 は、まできるとり できるとも見にない できるとは見にない でも後ののない く。【H28】	・あらゆる機会を捉え、粉防団員の襲棄 な報活動を行い消防 団員の拡充を図って いく。							
		H28	実施済み	<u>。</u> 実施中		引続き実施している。			積極的に入団促進 を図っている	本庁舎のイベントス ベースを利用した消 防団の活動展におい て消防団員の募集チ ラシを配布。							
	取組状況	H29	実施済み	実施中		引続き実施している。			積極的に入団促進 を図る	本庁舎のイベントス ベースを利用した消 防団の活動展におい て消防団員の募集チ ラシを配布。							
		H30	実施予定	引き続き実施継続していく		引続き実施している。			を図る	あらゆる機会を捉 え、消防団員の募集 広報活動を実施予 定。							
		H31							積極的に入団促進 を図る 積極的に入団促進								

りな取組の柱										実施する機関						
事 項	課題	目標時期	五霞	さ 市た	春日	草加	越谷	久喜	八遊	三郷	幸手	吉川	杉戸	松伏	市川	船橋
具体的取組			町	巾た ま	部市	市	市	市	市	市	市	市	町	町	市	市
フト対策の主な取組 2洪水氾濫による被害の軽減及び ) ー2ー1水防活動の効率化及び水	避難時間の	確保のための	の水防活動等の取	文組					1					1		
)-2-1水防活動の効率化及び水	k防体制の引	食化に関する	取組		・市のホームページで消防団 (水防団) の活動等を紹介する ページを作成し、団員を募集し										・消防団のホームページ を作成し、組織や活動内 窓について紹介し、常時	
	0	H29年度 から			ている。 ・常時ボスターの掲示やイベン トでのチラシの配布などPR活										容について紹介し、常時 団員を募集している。	
		順次実施			動を実施し、広く団員を募集し ている。											
					・市のホームページで当時団										<ul><li>維統的に実施</li></ul>	
					・市のホームページで消防団 (水防団)の活動等を紹介する ページを作成し、団員を募集し ている。										120003103103	
		H28			<ul> <li>常時ボスターの掲示やイベントでのチラシの配布などPR活動を実施し、広く団員を募集し</li> </ul>											
					ている。											
⑤水防に関する広報の充実(水防 団確保に係る取組)	i		消防団(水防団)	・広報紙やホーム ページ等で広く水 防団員(消防団 員)の製集や自主	<ul><li>市のホームページで消防団 (水防団)の活動等を紹介する ページを作成し、団員を募集し</li></ul>					・消防団(水防団) のホームページを作 成し、組織や活動内 容について紹介し、	・広報紙、市ホームページ やポスター掲示により広く 消防団員(水防団員)の活	広報誌や、ホームページ等で広 く水防団員(消防団員)の募集を 実施。	・常時ポスターの 掲示やイベントで のチラシの配布な	今後。実施に向け て検討する。	・継続的に実施	
		H29	要な活動を紹介 し、団員募集を	防災組織、企業等の参画を促すため	ている。 ・常時ポスターの掲示やイベン トでのチラシの配布などPR活 動を実施し、広く団員を募集し					容について紹介し、 常時団員募集を行っ ている。	動内容を周知し、団員の募 集をしている。		どPR活動を実施 し、広く団員を募 集を行う。			
	取組状況		行っている。	広報を充実させ る。	動を実施し、広く団員を募集し ている。											
			引き続き継続して いく。	引き続き広報紙やホームページ等で	<ul><li>市のホームページで消防団 (水防団)の活動等を紹介する</li></ul>					引き続き団員の募集 を行う。	<ul><li>広報紙、市ホームページ やボスター掲示により広く</li></ul>	引き続き実施予定。	<ul><li>・常時ボスターの 掲示やイベントで</li></ul>	出前講座等を通じ で広く募集してい	・継続的に実施	
		H30		広く水防団員(消 防団員)の募集や 自主防災組織、企	ベージを作成し、団員を募集し ている。 ・常時ポスターの掲示やイベン						消防団員(水防団員)の活動内容を周知し、団員の募 集を図る。		のチラシの配布な どPR活動を実施 し、広く団員を募 集を行う。	<.		
				業等の参画を促す ため広報を充実さ せる。	トでのチラシの配布などPR活動を実施し、広く団員を募集している。								集を行う。			
		H31														
		H32														
			松	野		流	浦	足	葛	江	茨	埼	Ŧ	東	気	関
			声	田市	柏市	市	安市	立区	飾区	戸 川 区	城県	玉県	葉県	京都	象庁	東 地 整
			東葛中部地区連合 水防団水防演習を 市の広報誌やホー	<ul><li>市のホームページの消防団員募集の記事や募集チラ</li></ul>		主体となり、市のホームページやボ	関係機関と水防団の募集 についての啓発の充実を 図っていく。	<ul> <li>広報誌等を通じて水防活動を行う 消防団員の募集な</li> </ul>	消防団員の募集広 報活動を行い消防 団員の拡充を図っ	・あらゆる機会を捉 え、消防団員の募集 広報活動を行い消防						
		H29年度 から	ムページにて紹介	シの配布等とは別 に協議会で順次検 討していく。		スター、パンフレットなどで、水防団員の募集をお	2,500	どを図っている。	ていく。	団員の拡充を図って いく。						
	0	から 順次実施				こなっている。										
			実施済み			引き続き実施している。	引き続き実施していく。	<ul><li>広報誌等を通じて水防活動を行う 消防団員の募集な</li></ul>	消防団員の募集広 報活動を行い消防 団員の拡充を図っ	本庁舎のイベントス ベースを利用した消 防団の活動展におい						
		H28						どを図っている。	ていく。	て消防団員の募集チ ラシを配布。						
			実施済み			引き続き実施して いる。	引き続き実施していく。	引き続き実施	消防団員の募集広 報活動を行い消防	ペースを利用した消	H29.8に茨城県庁におい て、水防啓発パネル展を実	・水防月間ポスター・リーフ レットを各市町村に配布。				
	取組状況	H29							団員の拡充を図っ ていく。	防団の活動展におい て消防団員の募集チ ラシを配布。	ēts .	<ul><li>・県庁本庁舎に懸垂幕を掲示。</li><li>・カスリーン台風70周年グッズ (シール)の作成、各イベント</li></ul>				
	RANDANIT											での配布。				
			実施予定	Marie A and Marie III		引き続き実施している。	引き続き実施していく。	引き続き実施予定	消防団員の募集広 報活動を行い当時	あらゆる機会を捉 え、消防団員の募集	引き続き、水筋啓発パネル 展を実施予定	・水防月間ボスター・リーフ レットを各市町村に配布予定。				
		H30		協議会で順次検討 していく					団員の拡充を図っ ていく。	広報活動を実施予 定。		・県庁本庁舎に懸垂幕を掲示予定。				
		H31														

的な取組の柱										実施する機関						
事 項	課題	目標時期	五	さ	春日	草	越谷	久喜	八	=	幸	吉	杉戸	松	市	船橋
具体的取組			置町	市たま	部市	市	市	市	潮市	郷市	手市	市	町	伏町	市	市
アト対策の主な取組 3一刻も早い生活再建及び社会経済 -3-1排水活動及び施設運用の	斉活動の回	復を可能とす	るための排水活	動及び施設運用強	との取組	1		1			-					
-3-1排水活動及び施設連用の	強化に関す S		・町で管理する排水機場等はありませんが、氾濫水度 はんが、氾濫水を 機材の整備につい て検討していく。 【H31】	<ul><li>連絡体制等について必要に応じて 検討していく</li></ul>	・市で管理する各ポンプ級、排水増進の運転設計でフェアルを 中成し、均一な運転管理に努めている ・マニュアルの介実に努めてい く【H28~】	マニュアルについて内容の見直しを	・排水施設については、 操作規則等で運用している。 る。 ・市内には多くの排水が 般があり、これらを活用 し、迅速に氾濫水を排水 できるよう、排水計画を 検討していく。【H32】	・排水資器材は、 ポンプを保有している。 ・排水に関する取 組とした言変が、 はいて、というでは、 が想定される。 がりできない。 がりできない。 がりできない。 がりできない。 がりできない。 がりできない。 がりできない。 がりできない。 がりできない。 とっと。 できない。 とっと。 できない。 と。 で。 と。 で。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。		・市内の河川(大場川) 排水機場の操作について、均支操りを託されており、操作規則によって対策・対応の対策を持力による。 市内名所の排水ボンブ施設については、市職員が操作・連用している。	・ 音松川及び大中落しへ排 水するだめに市内各所に排 水ボン万を設置している ・ 設定水位に達すると自動 運転し、市職員にメールが 届く。	市内に2つの雨水ボンブ場が あり、市場前が操作を行う。 ・設定水位に減すると自動運転 し、運転に不賞合がある場合 は、担当提所属職員に情報伝達 される。	・町内には、排水 機塊が1箇所あ る。 ・連絡体制やボン ブ施設の配置計画 は、今後検討す る。	<ul><li>3箇所、移動式ボンプ2台により、</li></ul>	・市内29ヶ所に排水機構があり、操作管理者は増 があり、操作管理者は増 より、要託を11ている。 ・連路に下統計していで 受に応じて統計してい く。【H29~】	水防で使用するための貨機材 所の水坊倉庫に配備している。 ・製品防災連転に小型の海水が を配備している。 ・水内・新水便機の操作につい 干燥偏より設定されており、環 定によって操作方法は規定され る。
①氾濫水を迅速に排水するための 排水施設の情報共有および排水手 法等の検討、排水ボンブ車・ボン ブ施設の配置計画の検討		H28	-	予定なし	マニュアルの充実に努めている。	-	-	-	引き続き、検討していく。	-	出水期において排水作業を 実施し、手法の確認を行 なった	-	-	・移動式ポンプ2 台購入	-	-
排水施設、排水資機材の運用方法の改善及び排水施設の整備等 機門・機管等の施設の確実な運用体制の確保	取組状況	H29	_	-	ボンブの配置や増強などについ て検討を行った。	_	-	-	策定予定		出水期において排水作業を 実施し、手法の確認を行 なった	-	-	移動式ポンプ日常点検実施。	-	-
		H30	-	_	引き続きマニュアルの充実に努める	・引き続き排水施設の適正な管理、配置等について検討していく。	_	_	実施済み	_	出水期前において排水手法 の確認、出水時に排水作業 を実施する。	_	・引き続き適正な 管理、配置等につ いて検討する。	移動式ポンプ日常点検予定	-	-
		H31														
		H32														
			松戸市	野田市	柏市	流 山 市	浦安市	足 立 区	<b>葛</b> 飾 区	江 戸 川 区	茨 城 県	埼 玉 県	千葉県	東京都	気 象 庁	関 東 地 整
	s	H28年度 から 順次実施	・排水施設の操作 マニュアルに沿っ て連用している。 【実施中】 ・ボンブ施設の配 曜については検討 中	・国交省から要的 を指すないる。 「現代のは、 を持ている。 「東原の ・ 首集の ・ 首集の ・ 首集の ・ 首集の ・ 首集の ・ 音楽の ・ 一般 ・ 一。 ・ 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	・ 芝木福管、減の結構管操作者 関により操作・運用の取り放射 を行むっている。 ・ 八型に対する他機管理につい て検討していく。 (1・28~)	器材:投げ込み式	・水門・排水機道の接作 について、千葉県より委 託されており、操作機の機体が によって決力がの機体が 活は規定されている。	・国や都の排水活動による。内水については、道路配水したの間所に排水ボンブ設置済み。	・東京都と連絡体制を確保している。	・区は都下水溢局の 排水施設及び大規模 水書時は国の排水ポンプ車に頼ってい る。	• 作成仁必要な情報の提供	国と原で、排水機場に万一トラブルが発生した場合に相互協力して減水機場を運転する協定を経むする協定を経び危機・連体制を強化している。	・計画作成に必要な情報を提供する。	・計画作成に必要 な情報を提供す る。		・排水施設の情報共有及で 体制を確保する「HZB〜7」 ・津波の連絡操作化につい 対象施設に出版。 ・今後の無限公路計画等で ・一段を東極度な器計画等で 入機以東籍する予定。
		H28	操作は運用中	<b>東施中</b>	引き続き検討していく	排水ポンプ車等の 要請ついて検討し ていく。	・水門・排水機場の操作 について、千葉県より委 託されており、操作規定 によって洪水時の操作方 法は規定されている。	-	-	排水活動は都や国に 頼っている。	資料の作成準備を実施した。 た。(要請に対して情報を 提供する準備をした。)	_	情報提供を実施	・計画作成に必要 な情報を提供。		<ul> <li>排水計画の検討に必要と 予算要求を実施。</li> </ul>
	取組状況	H29	操作は運用中	継続していく	引き続き検討していく	次期総合計画 (H32~)への位 圏付けを検討。	実施中	-	_	協議会において排水 計画の必要性につい て確認。	要請に対して情報を提供する。(要請なし)	協定を締結済み	情報提供を実施	・計画作成に必要 な情報を提供。		<ul><li>排水計画の検討を実施。</li></ul>
			操作は運用中	引き続き継続していく	引き続き検討していく	出水期前の各種管、樋門の点検の	継続予定。	_	_	排水ボンブ車の1次 参集場所や配置場所 の情報提供に協力す	要請に対して情報を提供する。	協定を締結済み	情報提供を実施予 定	・引き続き計画作 成に必要な情報を 提供する。		・排水計画(業)の作成
		H30				実施				S.						
		H30 H31 H32				天胎			-	S.						

かな取組の柱			実施する機関													
事項	課題	目標時期	五霞	さ 市た	春日部	草加	越谷士	久喜	八潮	垂鄉	幸手	吉川	杉戸	松伏	市川	船橋
具体的取組			町	₹	Ť	市	市	市	市	市	市	市	⊞J	町	市	市
<ul><li>小対策の主な取組</li><li>3一刻も早い生活再建及び社会経済</li><li>−3−1排水活動及び施設運用の</li></ul>	等活動の回	復を可能とする取組	るための排水活脈	助及び施設運用強化	との取組											
O THY TO A MONTH OF THE	S		・氾濫水を排水するため排水機材の 操作訓練を検討していく。 【H32】	<ul><li>必要に応じて検</li></ul>	・排水施設の接作マニュアルに 基づく訓練を実施する。	・排水施設の操作 マニュアルに基づ く訓練の実施を検 討していく。 【H28~】	・適切な排水が出来るよう、月1回の排水施設の 点検をかねた操作研修を 実施している。	・必要に応じて検 討していく【H29 ~】	<ul><li>・排水訓練の実施 について検討して いく。【H29~】</li></ul>	・排水基本計画の策 定後、必要に応じて 排水訓練の実施につ いて検討する。 【H29~H32で検 討】	・毎年大雨時に排水活動を 実践することにより、排水 作業の習得を行っている。	台風や突発的な豪雨の際に排水活動を実践することにより、排水作業の習得を行っている。	・担当課と排水訓練の実施を検討していく。【H29】	・町内の排水施設 の操作研修を実施 している。	・必要に応じて検討。 【H29~】	・本市では江戸川が直接通っ いないため、近隣市の状況を 認した上で、今後の方針を検 する。 【H29~】
		H28	-	予定なし	出水期前に排水施設の操作マニュアルに整づき訓練を行った。	・排水施設の操作 マニュアルに基づ く訓練を実施。	-	_	引き続き、検討していく。	_	出水期において排水作業の 実践を行った	出水期に接水活動を実践し、排水作業の習得を行った。	-	今年度実施予定なし	-	-
②排水計画に基づく排水訓練の実 施	取組状況	H29	-	_	適切かつ迅速な排水が実施できるよう、出水期部に排水施設の 接作マニュアルに基づき訓練を 実施した。		適切な排水が出来るよう、月1回の排水施設の 点検をかねた操作研修を 実施した。	_	引き続き、検討していく。	・排水基本計画の策 定後、必要に応じて 排水訓練の実施につ いて検討する。 【H29~H32で検 討】	出水期において排水作業の 実践を行った	出水期に排水活動を実践し、排水作業の習得を行った。	_	今年度実施予定なし	-	訓練の実施について検討中
		H30	必要に応じて検討していく。	-	引き続き、出水期前に排水施設 の操作等、訓練を実施予定。	・引き続き排水計 画等について検討 していく。	引き続き訓練を実施していく。	必要に応じて検討 していく	引き続き、検討していく。	引き続き排水基本計 画の策定と排水訓練 の実施について検討 していく。	出水期前において排水手法 の確認、出水時に排水作業 を実施する。	出水期に排水活動を実践し、排 水作業の習得を行う。	必要に応じて検討 していく	今年度実施予定なし	-	訓練の実施について検討を行 ていく
		H31														
	1								1							
			松戸市	野田市	柏市	流 山 市	浦安市	足立区	葛飾区	江戸川区	茨 城 県	埼 玉 県	千葉県	東京都	気象庁	関東地整
	s		戸	野田市市・排水訓練の実施について計画内容をふまえて、今後検討する。 (H28)	市	市	浦安市市・排水訓練の実施方法等、今後、株的する。	立	節区	戸 川 区 ・区は都下水道局の	・関係自治体が実施する訓	玉	葉	京都	象	東 地 整
	S	H28年度 から 順次実施	戸市 ・適切な排水が出来るよう点検を兼ねた操作研修を実施する。【H29】	・排水訓練の実施 について計画内容 をふまえて、今後 検討する。 【H28】	・福管操作訓練などで対応して	山市・必要に応じて排水訓練の実施について検討する。 【H32】	<ul><li>市</li><li>・排水別練の事施方法</li></ul>	立 区 内水の排水削練は 毎年行っている。	・水害時の排水については、都形み及び大規模水害時は国の排水が当時国の排水が	戸川区 ・区は都下水道局の 排水施設及び大規模 水煮割付品の プ車に頼ってい る。	県・関係自治体が実施する訓	玉 県 ・必要に応じて実施について検 が、	葉県 ・関係自治体が実施する訓練への参加	京都・必要に応じて実	象	東 地 整整・大規模水番を想定した緑水 緑の東施を検討していく。
	S	H28年度 から 順次実施 H28	一戸市 ・適切な排水が出来るよう点検を兼ねた操作研修を兼ねた操作研修を 施する。【H29】	市・排水訓練の実施 について計画内容 を込まえて、今後 検討する。 (H28)	・場管操作訓練などで対応していく。	・必要に応じて排 水訓練の実施について検討する。 【H32】 排水ボンブの点検 時、排水作業を実	市 ・排水訓練の実施方法等、今後、検討する。 (H29〜) 検討する。 ・ 平成29年度から排水訓練の実施方法等、今後検	立 区 内水の排水訓練は 毎年行っている。	・水害時の排水については、都形み及び大規模水害時は国の排水が当時国の排水が	アリス とは都下水道局の 排水施設及び大規模 水高時は認の排水が ブルエに 関ってい る。 水筋側線において排 水削線を実施。	・関係自治体が実施する加 体への参加 H28年は個が主催する排水 ボンプ車等の操作別様に参 加した。(次年度も開催が 加した。)	玉 県 ・必要に応じて実施について検 が、	葉県 ・関係自治体が実施する別様への参加 今年度、訓練予定	京 都 ・必要に応じて実 施について検討。 ・必要に応じて実 施について検討。	象	東 地 整 2 ・ 大規模大書を想定した排水 縁の実施を検討していく。
		H28年度 から 順次実施 H28	戸市・運切な排水が出来るよう点線を乗れた操作研修を乗りた操作研修を乗りる。 [H29]	市・排水排練の実施 について計画内容を必求えて、今後 検討する。 (1-(23) う後検討していく 引き練き検討していく	市 ・暖管操作別線などで対応して いく。 引き横き対応していく	山市 ・砂要に応じて排水制線の実施について検討する。 (1-132)  却水ボンブの点味 鉄、排水作業を実 銭 した。	市 ・排水訓練の実施方法 ・ 等な、今後、検討する。 (1429~) 株別する。 ・ 平成29年度から排水訓練の実施方法等、今後検討する。 ・ 平成29年度から排水訓練の実施方法等、今後検討する。	立 区 内水の排水訓練は 毎年行っている。	・水害時の排水については、都形み及び大規模水害時は国の排水が当時国の排水が	戸 川区  ・区は都下水温暖の 排水施設及び大規模 水高等は短め及び大規模 水高等は短めなり大規模 、大高等は短かない る。  水辺訓練において排 水切訓練を実施。  水辺訓練において排 水が訓練を実施。	県・関係自治体が実施する訓練への参加  1-23年は還が生催する別水 ボンブ事等の3時有別略に参加した。(23年度も開催があれば参加する。)	玉 県 ・必要に応じて実施について検  カ ・	・関係自治体が実際    ・関係自治体が実施する訓練への参加     与年度、訓練予定     今年度、訓練予定	京都 ・砂要に応じて実施について検討。 ・必要に応じて実施について検討。 ・必要に応じて実施について検討。	象	東 数 整型・大規模が悪を終射していく。 総の実施を検射していく。 ・ ・ ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は り を を を を を を を を を を を を を を を を を を
		H28年度 から 順次実施 H28	・適切な排水が出来るよう点格を美 状态よう点格を美 が高する。 (I-C29) H29より研修としても実施する予定 天施済み	市・排水排練の実施 について計画内容を必求えて、今後 検討する。 (1-(23) (1-	市 ・秘密操作制練などで対応していく 引き続き対応していく 引き続き検討していく	山市 ・砂要に応じて排水制線の実施について検討する。 (1-132)  却水ボンブの点味 鉄、排水作業を実 銭 した。	市  - 排水訓練の実施方法  - 排水訓練の実施方法  - 等、今後、練材する。 (1-(29~)  - 單成29年度から排水訓練の実施方法等、今後検  - 單成29年度から排水訓練の実施方法等、今後検  - 單成29年度から排水訓練の実施方法等、今後検  - 単成29年度から排水訓練の実施方法等、今後検	立 区 内水の排水削燥は 毎年行っている。	新 区 ・水香時の排水については、都下水・ 起間の排水を開放して大規模水・ のけったが水が、ア の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	戸川区  ・区は都下水画型の ・区は都下水画型の 排水施設なけれ機能 水面製はの近れ状態 水面製はの近れ状 大力事に 願ってい る。 水的訓練において排 水的訓練において排 水的訓練において排 水的訓練において排 水的訓練において排	県・関係自治体が実施する訓練への参加  H28年は塩が生産する排水ボンブ車等の操作訓練に参加した。(次年度を開催があれば参加する。)  塩が生産する排水ボンブ車等の操作訓練に参加した。	玉 県 ・必要に応いて疾施について検 対 ・	・関係自治体が実 開する訓練への参 別の ラ年度、訓練予定 なし 必要に応じ訓練子	京都 ・必要に応じて実施について検討。 ・必要に応じて実施について検討。 ・必要に応じて実施について検討。 ・指水ボンブ車による排水訓練を実施した。 ・引き続き必要に応じて実施につい	象	東 地 整 ・ 大規模/書を想定した排水 緑の東島を検討していく。 ・ 排水削減の検討に必要とな ・ 排水計画の検討を実施。 ・ 排水計画の検討を実施。

体的な取組の柱										実施する機関						
事項	課題	目標時期	五霞	さ 市た	春日	草 加	越谷市	久 喜 市	八潮	=郷	幸手	吉川	杉戸	松伏町	市川	船橋市
具体的取組			₩Ţ	ま	部 市	市	市	ā ā	市	市	πħ	市	, HI	ET .	市	市
)ソフト対策の主な取組 ) -3一刻も早い生活再建及び社会経済 (2) -3-2減災・防災に関する国の支	各活動の回 接	復を可能とす	るための排水活動	カ及び施設運用強化	この取組											
	К	H29年度 から 順次実施														
①災害時及び災害復旧に対する支援		H28														
恢	取組状況	H29												具体的な内容について今後検討する。		
		H30												具体的な内容について今後検討する。		
		H31														
		H32														
			松 戸 市	野田市	柏市	流山市	浦安市	足 立 区	<b>葛</b> 飾 区	江戸川区	茨 城 県	埼 玉 県	千葉県	東京都	気象庁	関東 東 地 整整
	к	H29年度 から 順次実施														・甲成20日接までに災害別 グラハウを接続移転するため、 初助別あから復旧に至るまで、 着成了ログランムを作成し、こ に基づ当を解析型と、 に関いてまたいな、地方公は日 地の相互支援を促し、災害が 力の向上を包含るため、災害労 が同じている。 がのでいる。
		H28														
	取組状況	H29					TEC=FORCEの活用について国土交通省から情報 提供を受け、市主催の訓練への参加等連携方法を 検討する。				市町村職員を対象とした災害講習会を実施					-
		H30				地域防災計画に則 り支援をしてい く。	協議の結果、 TEC-FORCEは不参加。				引き続き。市町村職員を対象とした災害講習会の実施を予定					・人材育成プログラムを作成 し、これに基づき研修・訓練 を協議会において情報提供を 定。
	1	H32														

具体的な取組の柱										実施する機関						
事項	課題	目標時期	五霞町	さ 市た	春 日 部	草 加	越谷	久喜	八潮	=郷	幸手	吉川	杉戸	松伏	市川	船橋
具体的取組			HT	った ま	部市	市	市	市	市	市	市	市	BT	町	市	市
2)ソフト対策の主な取組 2)-3-刻も早い生活再建及び社会経済 (2)-3-2減災・防災に関する国の支	斉活動の回	復を可能とす	るための排水活動	助及び施設運用強化	この取組					•		•				•
(2)一3一2減災・防災に関する国の支	(坂															
		H29年度														
	В	から 順次実施														
		H28														
②災害情報の地方公共団体との共																
有体制強化																
	取組状況															
		H29														
		H30														
		H31														
		H32														
			松	野		流	浦	足	葛	江	茨	埼	千	東	気	関
			松戸市	田市	柏市	市	浦 安 市	足立区	飾区	戸川区	茨 城 県	埼 玉 県	葉県	京都	気 象 庁	東 地 整
																平成29年度中に、DIMAPSの 利用促進に向け、都県に対する 説明を実施し、災害情報共有を
	В	H29年度 から														説明を実施し、災害情報共有の強化
		から順次実施														
		H28														
						国・県によるホットラインに基づく	DIMAPSの活用について 国土交通省から情報提供 を受け、千葉県防災情報 システムの更新等を鑑ま え、活用について検討す									・幹事会において、DIMAPS 概要について幹事会メンバー 情報提供を実施。
	取組状況	H29				1万秋大日	を受け、十条県的災情報 システムの更新等を踏ま え、活用について検討す									1有鞍埞供仓夫池。
		1,20					న <u>.</u>									
						引き続き実施して	継続検討予定。									
		H30				V1<										-
		H31														-
		H32														-